
指定管理者 管理運営評価シート (令和5年度)

令和6年9月

～目 次～

■ 複合文化施設（パルテノン多摩）及び多摩中央公園内駐車場・・・	2
■ 市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館・・・・・・・・	5
■ コミュニティセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	8
■ 総合体育館、屋外スポーツ施設及び多摩東公園・・・・・・・・	36
■ 温水プール及び総合福祉センター・・・・・・・・・・・・・・・・	39
■ 駐輪場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
■ 八ヶ岳少年自然の家・・・・・・・・・・・・・・・・	46
■ 永山複合施設駐車場・・・・・・・・・・・・・・・・	50
○ 指定管理者による取り組み（指定管理者記入分）・・・・・・・・	53

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1.指定管理者について

施設名		多摩市立複合文化施設及び多摩市立多摩中央公園内駐車場			
指定管理者名		バルテノン多摩共同事業体			
施設所管課		くらしと文化部 文化・生涯学習推進課			
主な業務内容		文化芸術の振興のための事業並びに市民の自主的な文化活動への支援、貸館運営、複合文化施設及び駐車場の施設管理			
指定期間		始期	終期		
		令和3年12月14日	令和9年3月31日		
利用料金制		有り			
選定方法		特命			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	0	0	0	
	歳出（指定管理料）	90,000	397,814	380,440	

2.指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	90,000	371,600	360,000
		利用料金	0	75,063	138,400
		駐車場利用料金		8,700	15,300
		事業収益		138,375	59,865
		受取負担金（補助金）		39,175	24,450
		その他	60,050	14,682	12,228
		収入計（a）	150,050	647,595	610,243
	支 出	人件費	66,921	229,520	230,258
		維持管理に係る経費	78,079	149,204	209,793
		事業実施に係る経費	5,050	175,527	90,494
		光熱水費		45,000	67,450
		その他	0	48,344	12,248
		支出計（b）	150,050	647,595	610,243
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	90,000	397,814	380,440
		利用料金	0	92,282	134,108
		駐車場利用料金		6,270	16,830
		事業収益		68,140	69,349
		受取負担金（補助金）		4,206	2,472
		寄付金		1,548	1,718
		その他	60,050	8,661	16,616
		収入計（c）	150,050	578,921	621,533
	支 出	人件費	63,856	215,131	232,798
		維持管理に係る経費	72,090	125,384	177,948
		事業実施に係る経費	4,741	137,889	110,454
		光熱水費	9,363	68,961	63,811
		その他	0	30,624	12,611
		支出計（d）	150,050	577,989	597,622
	収支（c-d）		0	932	23,911

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	4,549	248,101	238,791
貸館利用コマ数（利用率）	0	4,549(26.8%)	6,185(35.8%)
事業実施数	1	146	130
事業参加者数	3,777	94,935	93,353
駐車場利用台数	157	48,102	54,185

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

1 利用状況について

令和5年度の利用者について、施設利用者数(貸館)は238,791人、事業入場者数(公演・展示関係)は93,353人であった。なお、4階こどもひろばOLIVEの利用者67,564人を合わせると合計で399,708人であった。貸館の利用件数は3,605件、利用料金収入は、134,107,950円であった。各施設の利用状況について、大・小ホール利用率は約5割弱、練習室は約2~3割、会議室は約4~5割、新たな3諸室(キッチンラボ、クリエイティブラボ、クラフトラボ)は約1~3割という利用率であった。

重点取り組みとして、①先進的な新しい貸館制度の運用定着(時間貸し、当日貸し、延長利用、個人登録、未成年者利用、一般開放など)②すべての方に開かれたユニバーサルな管理運営③デジタルトランスフォーメーション(Dx)による持続可能な先進的管理運営④貸館誘致営業と言った取り組みを行ったが、利用率の全体の平均値は31.5%と利用率が5割を超えている諸室は僅かであり、更なる稼働率向上のための工夫が必要である。

2 駐車場運営について

令和5年度の利用台数について、東西駐車場合計で54,185台であった。多摩市立多摩中央公園内駐車場については、運営の一部を事業者に委託し、多摩センター近隣の駐車場と相互に割引制度の利用ができる共同利用駐車場として、休館前と同様の形で引き続き運営を行っている。

令和4年度と比較して利用台数は約6,000台増となった。それぞれの稼働状況を見ると、西側駐車場については、平日日中の稼働が高い状況であり、令和5年7月1日に多摩市立中央図書館がオープンしたことによる影響や多摩中央公園の工事関係車両の駐車など、バルテノン多摩周辺で行われている工事関係車両の駐車が多かったことが要因と考えられる。東側駐車場については、平日に比べて土日の稼働が高かった状況であり、土曜・日曜・祝日の催事で来館の際に、東側駐車場を利用される来館者が多かったものと考えられる。

3 事業の実施状況について

令和5年度の事業の実施状況について、リニューアルオープン1周年記念事業としてギリシャ悲劇を上演し、NHKBSで放送されるなど作品として高い評価をいただくことができ、市内・近接市のみならず、都心や近県、他県からの多摩センターエリアへの来街者が増え、地域活性化にも寄与した。NHKの連続テレビ小説で話題となった植物学者を取り上げた特別展を実施し、市外の施設へ出張展示も実施することが出来た。他にも市内公共施設及び書店との様々な連携展示を実施した。

アウトリーチ事業(学芸員派遣)では、従来から実施している市内小学校をはじめとして、大学、市内及び近隣公共施設等との連携、協力による出前授業や講座等を実施したり、バルテノン多摩で保有している自動演奏楽器2台を令和5年7月に開館した中央図書館へ移設し、連携コンサートを実施した。

文化財部門においては令和4年度にクラウドファンディングを実施し、目標額を大きく上回る3,858,000円の支援があった「多摩市と多摩ニュータウンの航空斜め写真を撮影して街の姿を未来に残そう」の航空写真撮影など、多彩な事業への取り組みを行った。

4 利用者へのサービス向上について

各諸室の時間貸しや当日貸し、延長利用などといった制度については認知度が向上しており、特に時間貸しは令和4年度の104件に対し、令和5年度は293件と2.8倍の利用があり、定着してきている。ホームページについては、問い合わせが多かったホールの各座席から見える舞台の様子を写真で掲載した。また、要望が多かった各諸室の備品を新たに追加購入するなど対応を行った。

遠方や仕事の都合などで施設に直接来館ができない方に対し、ZOOMを用いたオンラインの内覧会の実施や、大・小ホール、オープンスタジオ、市民ギャラリーの公演情報を掲載したバルテノン多摩スケジュールを毎月発行し、ホームページや館内への掲示のほか、市内公共施設を中心に29か所に配布・設置をし利用促進のPRを行った。

5 経費削減・資金確保について

光熱水費の抑制として、ホール、貸室の稼働率増加および物価、燃料高騰の影響を受け、利用者の快適性を考慮しつつ、市で実施されているクールビズ、ウォームビズの基準に合わせた館内空調温度設定への変更やホール・貸室の未利用時には空調、熱源機器の停止を行い、節電および省エネ運転に努めた。

経費節減として、維持管理経費を予算比で15%削減した。

補助金申請による資金の確保のため、令和5年4月に令和4年度地域の文化・芸術活動助成事業助成金の交付を受けた(2,472,000円)。

6 市民協働の推進について

市民学芸員及び市民研究員との関わりでは、古文書解読の市民研究員が多摩市の古記録の解読を進め、刊行につなげる準備を行った。また、バルテノン多摩の改修工事段階に制度をスタートした市民学芸員についても街角アート鑑賞ツアーや収蔵庫の保全活動等を行い、活動内容及び研究成果の発信の一環として刊行物を発行した。引き続きミュージアムを中心とした「地域まるごと博物館」構想の実現に向けて取り組む。

市民学芸員を中心とした市民有志の調査団を結成し、多摩ニュータウンの集合住宅の壁や屋根の色を調査した。調査結果を財団学芸員と調査団が協働で体系的に整理し、企画展「多摩ニュータウンノ色」として、ミュージアムに展示した。

市民活動支援事業として、映画祭をはじめブラスバンドによるチャリティコンサート、子どもたちがプロの芸術家やクラフト、あそびのワークショップに参加体験できるイベントを実施した。また、令和5年度からは、新たに公募による「市民団体等活動支援事業」を実施し、選定した団体の中から10団体による事業が行われた。これらの事業においては市民文化団体と協議し、連携や協力を得ながら実現したもので、地域の文化芸術活動の活性化に繋げるため、今後も引き続き取り組む。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)

①利用者アンケート②事業参加者アンケート③ミュージアム来訪者アンケートを実施した。方法は2次元コードによるアンケート収集を行い、各諸室に掲示、公演・講座終了後、ミュージアム見学後に対象者へそれぞれ実施した。

(結果の概要)

利用者アンケートは、二次元コードによるアンケートを設定し、各諸室にご案内を掲示しアンケートを収集した。

その中でも、「スタッフ対応の満足度」は5段階中、「とても満足・満足」と答えた方が63.2%、「普通」と回答した方が36.8%となった。継続した利用に関しては、82%の方が継続した利用を希望している結果となった。利用者からの声では、「会議室の設備が新しく、清潔だった」「施設が綺麗で気持ちよく使える」「会場の案内がわかりやすい」等の声があった。

事業者アンケートでは、公演の満足度について、「大変満足・満足」と回答された方が98%と大変良い印象を得られた。リニューアルしたバルテノン多摩の印象について、「大変良かった・良かった」と回答された方が96%とこちらも大変良い印象を得られた。

アンケートによっては回収できた数が少ないものもあったため、より多くの利用者の声を集め、今後の管理運営に活かしていく。

4.施設所管課の評価		実地検査日:	令和6年7月9日
視点	評価項目	評価	
協定書や管理基準等に基づく 基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適	
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適	
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適	
	適正に個人情報を管理できていたか	適	
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適	
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適	
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適	
利用者サービスの向上	貸館利用者アンケートなど各種アンケートや、総合案内窓口等で伺いする利用者の声を、共同事業体内でサービス改善に反映し、利用者サービス向上につなげる。	適	
	令和3年度末に開始した先行予約会員制度（無料）について、令和4年度のリニューアルオープン企画等の販売を経て、令和5年度も引き続き登録者数増を目指す。	適	
市民協働の推進	ミュージアムを活用して、地域の魅力や課題を発見できるさまざまなテーマを、財団学芸員と市民学芸員が協働して企画展やその他事業を企画実施する。	良	
	学校や社会福祉施設へ赴く社会包摂事業等をアウトリーチ事業として実施する。市民レベルでの人材や団体等による演劇や音楽等を協働で開催したり、市民等で構成された団体等との連携や地域の協力をいただきながら事業を企画する。	要改善	
経費の削減や歳入増加	ホールの稼働率や利用内容だけでなく、社会情勢によって大きく増減する光熱水費においては、利用者の快適性を考慮しつつ、照明器具や熱源機器の省エネ設定を行うとともに、そうした取り組みに対する利用者へのご理解ご協力を求め、光熱水費の増加抑制に努める。	適	
	日本芸術文化振興会（文化庁）や地域創造（総務省）の助成制度や、通年で応募できる民間助成などもありサーチし、資金確保に努める。	適	
評価の説明	令和5年度の指定管理者に対する評価については、指定管理者から提出された資料を基に行った書類審査と、令和6年7月9日にモニタリングチェックシート等を用いて実地調査を行った。 書類審査及び実地調査を行った結果、各確認項目については、概ね対応が出来ていることを確認し、適正な管理運営、利用者サービスの維持・向上、経費削減や歳入増加等の対応が出来ていることが確認できた。 市民協働の推進については、市民学芸員養成講座を第3期まで継続して実施しており、市民学芸員を含む有志による調査の結果をもとに企画展の開催や、市民学芸員が主体となって街角アートツアーや施設4階の回廊展示、冊子の刊行やオリジナルトレーディングカードの発行を行うなど、多くの研究成果を様々な形で発信するなど実績に繋がっている点から、良とした。		
評価項目以外の改善取組			
改善指摘事項	アウトリーチ事業による地域のコミュニティセンターや学校（適応教室）、社会福祉施設への文化芸術活動の普及は、社会包摂の観点からも重要性を認識し令和5年度も実施する予定で調整していたが、訪問先の事業等もあり、実現できなかった。令和6年度は着実な実施を行い、今後は拡充すべきである。		

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

○評価の総括 令和5年度の指定管理に関する年度協定書の締結にあたっては、市の文化芸術拠点として、その機能が十分に発揮されるよう下記項目の取り組みの改善について市から指定管理者へ付帯意見を通知しており、指定管理者の対応状況については以下の通り。 1. 広報活動について 不定期で発行していたバルテノン多摩NEWSについて、これまでは主催事業を中心に情報発信をしていたが、貸館事業・共催事業・提携事業も掲載し、事業の枠にとらわれない様々な文化事業を市民に届けられるような紙面構成へ変更し、令和6年度からは定期発行とするなど積極的な広報活動へ改善された。 2. 主催事業の集客について 令和4年度の主催事業では、大ホールの25%程度しか席の埋まらない催しが多数見受けられたが、令和5年度はジャンル等のバランスを意識し、より集客力のある事業を行うなど平均して50～60%の集客となり、多くの市民の方が文化事業に触れてもらうための改善が図られた。 3. 多摩センター活性化について 多摩センター地区連絡協議会との連携、協力のほか、近隣地域の企業、関係機関等と連携し、多摩センター夏まつり、ハロウィン、イルミネーションといった、バルテノン多摩および多摩中央公園を中心とした賑わいの創出及び多摩センター地域全体の活性化のため、ストリートピアノ設置やストリートオルガン実施等の協力をした。 4. 施設の日常利用・一般開放利用について 施設の一般開放利用のため、諸室の一部（オープンスタジオ・クラフトラボ）を対象に実施したが、結果として利用者は少なく、ニーズや利用条件の設定に課題が残った。今後は図書館や地区連絡協議会のイベントと併せて開催するなど一般開放の内容を見直しが必要な他、前もって告知を行い、利用につなげていくとの方針を確認した。 その他、指定管理者との月次定例会を通して、バルテノン多摩の施設運営にかかる問題や施設不具合の対応等に関する協議を行い、改善に取り組んだ。定例会だけでなく、施設運営の中で生じた課題等について市への迅速な報告と指定管理者との連携で、状況の把握や早期解決に努めた。 ○今後の課題や方向性について 令和5年度の指定管理については、令和4年度と比較すると改善された点も見受けられたが、アウトリーチ事業による社会福祉施設等への文化芸術活動の普及は、社会包摂の観点からも重要性を認識し注力することや、貸館利用については、諸室毎の稼働率向上に向けた方策の検討・効果的な営業を実施と言った点については課題があり、令和6年度では更なる改善を行い、共同事業体として民間事業者の強みを生かした事業内容の充実・利用者サービスの向上を実施することが求められる。

指定管理者 施設運営評価シート（令和 5 年度）

1.指定管理者について

施設名		多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館			
指定管理者名		多摩コミュニティパートナーズ			
施設所管課		くらしと文化部 文化・生涯学習推進課、教育部 教育振興課			
主な業務内容		多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和3年7月1日	令和7年3月31日		
利用料金制		有り			
選定方法		公募			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）				
	歳出（指定管理料）	19,582	44,618	46,658	

2.指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	19,582	42,973	46,658
		利用料金	—	5,210	5,016
		事業収入	—	2,625	66
		その他	—	8,852	3,775
		収入計（a）	19,582	59,660	55,515
	支 出	人件費	3,610	29,070	25,150
		維持管理に係る経費	15,692	25,865	28,409
		事業実施に係る経費	—	2,025	60
		その他	280	2,700	1,896
		支出計（b）	19,582	59,660	55,515
		収支（a-b）	0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	19,582	44,618	46,658
		利用料金	—	4,231	4,448
		事業収入	—	543	306
		その他	4	3,686	4,343
		収入計（c）	19,586	53,078	55,755
	支 出	人件費	2,708	24,763	24,143
		維持管理に係る経費	16,655	25,900	27,209
		事業実施に係る経費	—	381	405
		その他	182	2,599	2,669
		支出計（d）	19,545	53,643	54,426
		収支（c-d）	41	-565	1,329

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

※施設運営評価シート（令和5年度）より利用料金収入の算定方法を変更しています。

（2）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定事業の実施数	—	16	16
自主事業の実施数	—	41	47
市民活動・交流センターの利用者数	—	118,864	127,320
市民活動・交流センターの稼働率	—	47.2%	51.1%

（３）運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

○維持管理について 令和4年4月1日に市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館が開館し、開館2年目として、施設内の安全管理を徹底し、安定的な貸館運営を行った。施設の開館後時間が経っていないこともあり、大きな修繕は発生していないが、整備工事で改修しなかった箇所でも小規模な修繕が発生する事例が散見された。 ・利用団体との施設運営を協議する場として、利用者懇談会、運営協議会を実施し、昨年に引き続き、施設の設置目的や利用ルールの徹底のお願いや利用団体の意見・要望の聴取、施設の運用ルールの検討・決定等を行った。利用者懇談会（１回）開催、運営協議会（分科会２回・本会議１回）を開催した。 ・地域住民への施設の周知、利用率の向上のためホームページの定期的な更新、実施事業やカフェの紹介チラシの近隣住宅へのポスティングや、施設の各入口へのチラシBOXの設置などを積極的に行った。 ○事業実施の状況 ・キタカイフェスタと防災フェスタ（自主事業）の大規模なイベント事業を実施し、15回の生涯学習講座を開催した。 令和５年11月 キタカイフェスタ 1,714人来場 令和６年3月 防災フェスタ 569人来場 ・生涯学習講座は、体験教室や講座で、指定管理者の指定管理事業である。主に利用団体や近隣の住民、多摩市に関連のある市民の方に講師として依頼し、月に1回以上実施した。集客に苦戦する事業もあったが、たま広報の掲載や口コミ等により参加者が増え、定員に達する講座も増えた。 生涯学習講座の内訳は、こけ玉づくり教室、ハーブ植え付け講座、母の日フラワーフレーム作成、竹灯籠作成、グラウンドゴルフ体験会、夏休み絵手紙教室、ゲルチョークアート体験教室、ハーブ収穫教室、プリザーブドフラワー教室、クリスマスリース作り教室、クリスマスコンサート、お正月しめ縄づくり教室、めかい作り教室、ポッチャ体験会、初めての水墨画体験の計15講座実施し、計210人の参加があった。 ・指定管理者の自主事業として、体操教室を中心に47講座が実施され、計7,848人が参加しており、当施設の地域住民へ認知度の向上に大きく寄与している。 ○収支状況 （１）収入について 貸館利用料収入は、稼働率の向上に伴い令和4年度比5%増加している。駐車場利用料は、土日の少年サッカー団体等の利用が多く、年間通して雨も少なかったため、大幅に伸びた。また、事業収入にはイベントや生涯学習事業の収入が含まれている。イベント収入令和5年度は、令和4年度に実施した開館記念イベントがなくなり、キタカイフェスタのみとなったため、前年より減っている。 （２）支出について 人件費は、アルバイト人員を利用状況に応じて調整することで費用を抑えた。維持管理にかかる経費は、極力外部委託を行わず、施設の細かな修繕など指定管理者が自社で対応を行った。また、印刷費について極力白黒印刷を使用する事、裏紙を活用することで、年間27万円の費用削減となった。 ○利用状況 指定期間終了時の達成目標が来館者数121,000人としており、令和5年度実績は127,320人と105%の達成率だった。また、目標登録団体数は200団体であるが、令和5年度実績は310団体と大幅に目標を上回っている。全貸室の目標稼働率は54%であり、令和5年度実績は51.1%と未達だった。個別の利用率では体育館は平均81.7%とかなり高いが、創作活動室2や会議室3は20%未満と低い。また、利用者の多くが高齢者であり夜間は敬遠されることから、17時以降の夜間帯は利用率が下がる傾向にあり、引き続き現役世代や学生へアプローチする等の対策が必要となる。
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数） 2回実施した。 1回目 令和5年9月1日～9月30日 2回目令和6年3月1日～3月31日 利用団体にアンケート用紙を配布し受付で回収。可能な限り手渡しでアンケート用紙を配布し、回収率を上げた。開放スペースにアンケート用紙を配置し、回収BOXで回収。 （結果の概要） 利用状況や満足度を把握し、利用者の特性や利用状況を把握し今後の運営に活かすため、利用種別ごとにアンケートを依頼し収集した。職員の印象について、「あいさつ」「身だしなみ」「言葉遣い」で利用者の意見を聞き、「満足」「やや満足」と回答された方が98%以上という大変良い印象の回答を得られた。また、施設の利用料金については「満足」「やや満足」と回答された方が70%以上と、概ね納得されていることが分かった。施設設備については「満足」「やや満足」と回答された方が70%以上と概ね納得されていることが分かった。開館2年目の新しい施設ということもあり、設備や備品の配置に対する要望が多かった。
--

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年7月4日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者懇談会を実施し、施設運営の情報提供及び利用者の意見聴取を行ったか。	適
	生涯学習講座を計画書通りに実施したか。	適
市民協働の推進	地域交流の促進のための事業を実施したか。	適
	市民が主体的に施設の運営に参画する運営協議会を開催し、利用ルールなどについて協議し、より良い運営につながるよう努めたか。	適
経費の削減や歳入増加	稼働率の低い貸室の利用を促進し、利用者の増加に努めたか。	適
評価の説明	・協定書や管理基準等に基づく基本業務について、施設の維持管理、危機管理対策は適切にされていた。 ・利用者サービスの向上について、利用者懇談会、運営協議会の実施、2回の利用者アンケートの実施を通し、意見聴取が適切にされていた。 ・市民協働の推進について、指定事業であるキタカイフェスタ及び自主事業の防災フェスタの大規模イベントが実施され、地域交流のきっかけづくりがなされた。 ・経費の削減や歳入増加については、稼働率の低い貸室を使い、自主事業を行うなど、適切に取り組んでいた。	
評価項目以外の改善取組	なし	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

市民活動・交流センターは市民活動の場を提供するとともに、市民活動を支援し市民の交流を促進することにより、豊かな地域社会の実現を図ることを設置目的としている。

令和5年度は開館2年目として、施設内の安全管理を徹底するとともに、貸館を中心として、柔軟な施設運営を行った。指定管理事業の実施にあたっては、開館記念事業やキタカイフェスタ等のイベントや毎月の生涯学習講座における企画から、募集、受付、実施を安定的に行うための柔軟な施設運営に取り組んでいた。また、利用団体が自主的・主体的に運営協議の場に参画する為、運営協議会を実施した。利用団体や地域の方々との交流、意見交換会を通じて多様な市民の活動をつなぎ、生き生きとした地域社会づくりに寄与することを目指した。運営協議会等は3回開催し、貸館の運用ルールを話し合い改善したルールを利用の手引きに反映させている。利用率の向上に向けては、地域住民への施設の周知に力を入れた。

多摩ふるさと資料館では、小中学校の夏休み期間にあわせたイベント「クイズに挑戦！『むかしの多摩ってどんなところ？』」の開催時に、指定管理者のスタッフがクイズカードの回収とともに、記念品の引き渡しを行った。また、令和5年11月開催のキタカイフェスタや、令和6年3月開催の防災フェスタでは、来館者の増加を目的として資料館の展示スペースをスタンプラリーのポイントとしており、指定管理者がこれらの取組を自発的・積極的に行っていることは高く評価する。

市や関連団体・地域との連携、協力では、多摩市で実施している「健幸Spot」の設置、障がい者就労支援施設との連携として「たまげんき」と連携し交流スペースでお菓子や小物の販売、地域で活動する「NPO紬」と連携し多摩市で採れた野菜の販売を実施を昨年より継続して行っている。そのほか、子育て交流室で唐木田児童館による「子育て出張ひろば」を月1回の実施、ごみ対策課で実施する「多摩市食べきり協力店」に登録、クールシェア協賛店への登録、ゴーヤ栽培によるグリーンカーテン事業へ参加した。多摩消防署への優マーク（優良防火対象物認定）の申請を行い、屋内消火栓等を使った訓練や設備の審査を通過し、認定された。

今後も、引き続き施設内の安全管理を徹底するとともに、年1回以上のイベントの実施や、市民や地域のニーズに合った事業を行うなど、指定管理者による主体的で柔軟な施設運営を期待する。また、利用団体の自主的・主体的な運営とする取組には、引き続き運営協議の場に参画する機会を設ける。運営協議会を通して、利用団体や地域の方々との交流を通じて多様な市民の活動をつなぎ、生き生きとした地域社会づくりに寄与することを目指す。また、市民活動・交流センターと多摩ふるさと資料館が事業等で連携協力を推進することで、より魅力ある施設となるよう取組を進めていく。

利用者の増加に向けては、施設・実施事業の周知や、利用者の少ない貸室や夜間の時間帯の利用を促すよう取り組んでいく。さらに、本施設は必要最小限の改修を基本方針としてきたため、今後、老朽化や不具合のある部分の補修、改善工事を市と指定管理者で協議しながら計画的に行っていく。

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1. 指定管理者について

施設名		関戸・一ノ宮コミュニティセンター（関・一つむぎ館）		
指定管理者名		関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		関戸・一ノ宮コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	歳入（使用料）	1,719	2,312	2,230
	歳出（指定管理料）	17,264	17,870	18,692

2. 指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	17,264	17,870	18,692
		利用料金	-	-	-
		事業収入	647	515	561
		その他	557	827	393
		収入計（a）	18,468	19,212	19,646
	支 出	人件費	14,258	14,674	15,258
		維持管理に係る経費	1,806	2,100	2,155
		事業実施に係る経費	1,882	2,025	2,154
		その他	522	413	79
		支出計（b）	18,468	19,212	19,646
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,264	17,870	18,692
		利用料金	-	-	-
		事業収入	280	353	419
		その他	525	830	389
		収入計（c）	18,069	19,053	19,500
	支 出	人件費	13,740	14,313	14,867
		維持管理に係る経費	2,598	3,160	2,673
		事業実施に係る経費	935	1,217	1,621
		その他	-	-	-
		支出計（d）	17,273	18,690	19,161
	収支（c-d）		796	363	339

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（2）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	24,515人	33,552人	39,076人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	9事業	20事業	21事業
事業参加者数	587人	1,386人	3,081人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。
施設利用については、令和4年度と比較すると+5,524人（+16.5%）となり、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度の35,068人を上回る結果となった。近年は運動をする団体が増えており、ピアノが設置されている部屋や運動ができる広い部屋が人気となっている。また、夜間の時間帯の利用率も高く、一日を通して利用率が高くなっている。
本館独自の事業についてはどれも人気で、受付開始後にすぐに定員に達するものばかりであった。つむぎ館が地域に根付いていることがうかがえる。
コロナ禍を経て4年ぶりに開催した「つむぎ館まつり」は、建物の1階から4階までと近隣の公園を使って盛大に開催された。普段つむぎ館を利用している団体の作品の展示や、地域団体が行う骨密度測定やバルーンアート、自治会や運営協議会の模擬店など様々な催し物があり、参加者は1,600人にのぼった。
「つむぎ館まつり」をはじめ、「こどもまつり」や「笑いヨガ」など多くの事業を他団体と連携しながら実施しており、良好な関係を築くことができている。今後も他団体と連携を図って事業を実施することが見込まれる。
収入および支出に関しては、賃金の上昇により人件費が増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり感染対策に必要な維持管理に係る経費が減少した。その分、事業実施に係る経費が増加しており、「つむぎ館まつり」の完全復活など事業内容の充実を図ったことがうかがえる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）
未実施
（結果の概要）

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月31日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	良
	貸出を行っていない集会室の午後枠を有効活用するため、フリースペースとして利用者が自由に使える「みんなの日」を実施したか	適
市民協働の推進	地域の親子が参加する「こどもまつり」の開催等、世代間交流事業を実施したか（1種）	適
	「せいせき桜まつり」や「つむぎ館まつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（5種）	適
	「せいせき音フェス」への場所の提供や自治会活動への協力など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進項目では、公民館との「笑いヨガ」や近隣大学との「ラジオ体操教室」など地域団体と協力して事業を実施し、連携・交流が図られたので「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	利用者からの声に対してはその都度対応しており、特段大きな苦情等は届いていない。日頃からスタッフが利用者に寄り添って対応していることがうかがえる。	
改善指摘事項	年1回以上、利用者の意見を聴く機会を設けていただきたい。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

関・一つむぎ館はコミュニティセンターの中でも利用率が高く、常時来館者で賑わっている施設である。また、運営協議会が企画する事業も人気で、ほとんどの事業が定員に達するほどである。子どもから高齢者まで幅広い世代に根付いている“憩いの場”となっている。

令和5年度は計画通りに事業を開催することができた。約3年間、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてきたが、通常どおりに戻すことができたのはとても大きな成果であると受け取れる。

運営協議会委員の高齢化や担い手不足が課題となっているなかで、関・一つむぎ館では地域団体と連携して事業を実施することを増やしていく方向性である。連携事業が増えることによって、地域団体との繋がりが強くなり、また、継続して地域の方が楽しめる事業を実施することができる。今後も地域と協力しながら、関戸・一ノ宮地域を盛り上げていくことを期待したい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1.指定管理者について

施設名		桜ヶ丘コミュニティセンター（ゆう桜ヶ丘）			
指定管理者名		桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		桜ヶ丘コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制		無し			
選定方法		特命			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	637	611	634	
	歳出（指定管理料）	16,405	17,274	18,446	

2.指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算	収入	指定管理料	17,385	18,061	18,446
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,014	1,008	899
		その他	1,010	922	1,000
		収入計（a）	19,409	19,991	20,345
	支出	人件費	14,319	14,712	15,053
		維持管理に係る経費	2,050	2,225	2,428
		事業実施に係る経費	2,932	2,860	1,916
		その他	108	194	948
		支出計（b）	19,409	19,991	20,345
	収支（a-b）		0	0	0
決算	収入	指定管理料	16,405	17,274	18,446
		利用料金	-	-	-
		事業収入	430	809	1,016
		その他	946	864	1,000
		収入計（c）	17,781	18,947	20,462
	支出	人件費	13,362	14,164	15,073
		維持管理に係る経費	2,363	2,120	1,949
		事業実施に係る経費	1,223	1,646	1,998
		その他	10	18	656
		支出計（d）	16,958	17,948	19,676
	収支（c-d）		823	999	786

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（2）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	16,774人	16,823人	18,138人
貸部屋数	6室	6室	6室
事業実施数	18事業	26事業	33事業
事業参加者数	864人	2,134人	6,843人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。
施設利用については、令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下げられたことから、令和4年度と比較しても、1,300人以上の増加となった。引き続き感染対策を講じた上で継続して貸し出しを行っていく。また、飲食についても解禁したことによって調理室の利用も増えている。
本館の事業について、大きなイベントとして「夏まつり」はコロナ禍明けの4年ぶりの開催となり、非常に多くの参加者があった。
昨年から新たに実施した事業である相模原JAXAへの見学会は非常に好評であった。新規事業として、ロビーのピアノを公開し、参加者に自由に弾いてもらう「みんなのピアノ」という事業を実施。原則として第2、第4日曜日の午前中、5月と8月を除いて全22回実施した。参加者は多い時で10数名、少ない時でも4～5名が参加した。国際交流事業としては、駐日モンゴル国大使館より公使参事官以下3名、馬頭琴演奏者、バラクラ料理指導の関係者等多数の参加があった事業「モンゴル国を知る集い」など、魅力ある市民に親しまれる事業展開を図っている。また、地域団体との協働事業として「平和展」（平和・人権課）、「サマーコンサート 心音（ここね）」（桜ヶ丘児童館）等、世代間交流事業として桜ヶ丘児童館と共催の筍堀り、うどん打ち等を実施し、地域への楽しみの提供とコミュニティセンターとしての役割を果たした。
収入・支出ともに令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少傾向が続いていたが、令和4年度以降徐々に回復傾向にある。中止していた事業の復活や新規事業の実施を図り、昨年度に比べ増加傾向がみられた。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）
利用者懇談会 1回 令和6年2月25日 参加団体9団体
（結果の概要）
館への要望にあった施設整備に関する事項（駐車場の不足、照明の暗さ、トイレの水流の改善等）については、大規模改修に向けての要望事項に取り入れた。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	風呂跡地のフリースペースであるサロンを有効活用するため、赤ちゃんから高齢者まで楽しめる憩いの場としての事業「カフェゆう」を実施したか	適
市民協働の推進	併設されている桜ヶ丘児童館との季節行事の共催等、世代間交流事業を実施したか（6種）	適
	「夏まつり」等、地域団体等や自治会と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	「ゆうあい学館」等、地域団体の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目では、新型コロナの影響により飲食の制限等、多少の活動の制限は受けたものの、感染症流行前に実施されていた事業の復活し、できるかぎりの事業を工夫を凝らして実施したため「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	新型コロナの影響で規模の縮小や人数制限など事業実施が困難な状況にあったが、工夫を凝らして可能な限り事業を実施した。	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会は、従来から館の雰囲気重視しながら、住民にとって楽しいと思えるコミュニティセンターになることを目標にしている。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類相当になったものの飲食の制限等多少の影響を受けたが、感染対策を徹底したうえで規模の縮小、人数の制限などの工夫をし、夏まつりを復活させたり、新規事業も織り交ぜながら事業を実施することにより、以前の賑わいも出てきたところである。

他の運営協議会と同様に、運営協議会委員のなり手不足や高齢化が課題となっているが、運営協議会としてのPRの仕方や地域の団体との接点を増やし、事業開催時には、運営協議会の組織というものを多く知っていただく工夫をしながら、人員確保に努めている。

今後、施設の大規模改修も控えており、市と協力しながら、市民に親しみを持たれるコミュニティセンターを目標に館の運営を心がけていきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1.指定管理者について

施設名		乞田・貝取コミュニティセンター（乞田・貝取ふれあい館）			
指定管理者名		乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		乞田・貝取コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制					
選定方法					
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	530	558	587	
	歳出（指定管理料）	16,334	17,952	17,512	

2.指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	17,234	17,952	18,412
		利用料金	-	-	-
		事業収入	557	557	743
		その他	1,259	1,236	824
		収入計（a）	19,050	19,745	19,979
	支 出	人件費	14,164	14,652	14,804
		維持管理に係る経費	2,087	2,199	2,185
		事業実施に係る経費	2,074	2,194	2,340
		その他	725	700	650
		支出計（b）	19,050	19,745	19,979
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	16,334	17,952	17,512
		利用料金	-	-	-
		事業収入	71	86	420
		その他	1,277	1,231	823
		収入計（c）	17,682	19,269	18,755
	支 出	人件費	13,602	14,293	14,509
		維持管理に係る経費	2,809	3,097	2,252
		事業実施に係る経費	346	970	1,422
		その他	0	97	0
		支出計（d）	16,757	18,457	18,183
	収支（c-d）		925	812	572

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（2）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	10,260人	12,801人	14,451人
貸部屋数	3室	3室	3室
事業実施数	4事業	13事業	14事業
事業参加者数	234人	1,826人	1,951人

（３）運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（９館）の総括」に記載のとおり。 施設利用については、令和４年度と比較すると、＋1,650人（＋12.9％）となり、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和２年度と比較すると＋5,233人（＋56.8％）となった。しかし、令和元年度と比較すると-7,099人となっており、新型コロナウイルス感染症前には戻っていない。 令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の規制が５類に緩和されたが、引き続き感染拡大防止策を講じながら、安全安心の貸室事業と縮小傾向ではあるが徐々に例年実施している事業の展開を図った。 その他の事業については、昨年度からスタートした「ものづくり教室」は、夏休みの子供たちに魅力ある体験をしてもらうべく、親子でカレーづくりや工作を行い好評を得た。コロナ禍前には「ふれあいキャンプ」を実施していたが、これに置き換わる事業の期待が寄せられている。 また、高齢者を対象とした軽体操や健康問題を取り上げた講演会の定期的な開催は、良きコミュニケーションの場として参加者から高い評価を得ている。 収入および支出は、老朽化した催事用のテーブル等を購入したが、新型コロナウイルス感染症の引き下げにより施設の維持管理経費が減少したため全体では減少した。反面、事業については例年に近い事業の展開もあり増加している。
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数） 利用者アンケート １回 令和６年２月６日～令和６年２月29日 回答数19団体 利用者懇談会 １回 令和６年３月９日 参加団体７団体 （結果の概要） アンケート集計結果は、職員の接客態度について「良い」「やや良い」が昨年度81％であったのに対し、今年度も79％と、若干下がってはいるものの職員の対応に満足していただいていることが分かる。また、館内清掃度について「良い」が昨年度76％であったが、今年度は84％と増加しており、引き続き館が清潔に保たれており、利用者側も丁寧に使っていただいていることと思われる。 利用者懇談会については、団体から意見のあった項目については検討を行い、「ロッカーの設置」については対応し、「館内での飲食」については、感染症拡大対策を講じながら、一部可能とするなど利用者の声に対応している。
--

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	隣接するふれあい広場の遊具点検の実施やゴミ拾い等、安全確認や適正管理を行っているか	適
市民協働の推進	地域の三世代交流を図ることを目的とした「夏休みラジオ体操」等、世代間交流事業を実施したか（１種）	適
	「秋そばまつり」や「どんど焼き」等、地域団体等と連携を取り、地域交流事業を実施したか（２種）	適
	商店会の「桜まつり」の後援等、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、地域から多くの要望があった「どんど焼き」は一部内容を変更して開催し、「秋そばまつり」は規模を縮小して行うことで、形を変えながらも工夫しながら継続して事業を実施したことから、「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会は、「集い、学び、憩う三世代」という運営スローガンを継続して実践している。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に緩和されたが、乞田・貝取コミュニティセンターでは引き続き感染防止対策を講じたうえで、事業の縮小や内容変更等、工夫して開催するなど、乞田・貝取ふれあい館の賑わいが戻るように活動した。

また、運営委員の高齢化が避けられない状況ではあるが、運営委員の結束が必要と考え、地元自治会と連携しながら事業の質の維持のために運営委員だけを参加対象とした研修会を実施し、段取りやノウハウの維持・継承にも努めている。

さらに多くの住民や団体が利用しやすい貸室環境や、世代を超えて子どもや高齢者が安心して集え憩える場の提供をこれからも期待したい。

今後も乞田・貝取ふれあい館の良さである地域のつながり、人と人とのつながりを大切にしながら管理運営を行ってほしい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1.指定管理者について

施設名		鶴牧・落合・南野コミュニティセンター（TOM HOUSE）			
指定管理者名		鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		鶴牧・落合・南野コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制					
選定方法					
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	180	842	1,337	
	歳出（指定管理料）	14,980	15,648	17,803	

2.指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	15,772	16,347	18,280
		利用料金	-	-	-
		事業収入	119	405	824
		その他	973	792	146
		収入計（a）	16,864	17,544	19,250
	支 出	人件費	11,089	13,064	14,938
		維持管理に係る経費	3,625	2,109	1,779
		事業実施に係る経費	1,173	1,790	2,385
		その他	977	581	148
		支出計（b）	16,864	17,544	19,250
		収支（a-b）	0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	14,980	15,648	17,803
		利用料金	-	-	-
		事業収入	79	361	813
		その他	971	747	138
		収入計（c）	16,030	16,756	18,754
	支 出	人件費	10,512	12,192	14,907
		維持管理に係る経費	3,822	2,953	1,546
		事業実施に係る経費	965	1,533	1,783
		その他	0	0	0
		支出計（d）	15,299	16,678	18,236
		収支（c-d）	731	78	518

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（2）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	8,500人	21,158人	42,821人
貸部屋数	6室	7室	7室
事業実施数	5事業	17事業	23事業
事業参加者数	172人	926人	4,205人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。
施設利用については、施設の大規模改修に伴う休館や新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和4年度と比較すると、+21,663人（+102.4%）となり、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度と比較しても、+21,302人（99.0%）となった。しかし、令和元年度と比較すると、-15,311人となっており、新型コロナウイルス感染症前の状況には完全には戻っていない。
本館独自の事業について、令和2年から中止していたトムハウスまつりを4年ぶりに開催した。1日のみの開催であったが、ホールでのカラオケ大会に始まり、多くの出店もあり大いに盛り上がりを見せた。
主催事業の「福祉カラオケ」は30年間無料で実施してきたが、全体の事業を圧迫する状況となったため検討を重ね、参加費の導入を決定したが、参加者からの苦情もなく、館と利用者の関係が良好に築かれているとうかがえる。
収入および支出に関しては、賃金の上昇により人件費が増加している。新型コロナウイルス感染症対策等に必要な維持管理に係る経費が減少したため、維持管理経費は減少、それに代わり事業実施に係る経費が増加しており、「トムハウスまつり」の復活等が要因と思われる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数） 利用者懇談会 1回 令和6年3月24日 参加団体28団体 投書箱設置
（結果の概要） 利用者懇談会では、「展示レール追加設置」や「工作室の個人利用の検討」等、改善要望の声が多く寄せられた。 施設利用者が記入する「退出チェック表」や投書箱にいただいた指摘については、「この場ルーム」利用者に対してスタッフの巡回強化やポスターの掲示を、またホールのハンガーの追加要望についても速やかに行い、利用者への要望に応えることができた。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	改修後に新たに設置した、「この場ルーム」は適切に運用されているか	適
市民協働の推進	「小学生のプログラミング教室」や「子ども絵画教室」等、世代間交流事業を実施したか（4種）	適
	「トムハウスまつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	地域福祉推進委員の拠点施設として会議場を提供するなど、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、トムハウスまつりの開催や、子ども絵画教室の実施等、世代間・地域間交流が遂行できたことから、「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会にとって、令和5年度は大規模改修後の地域のコミュニティづくりの新たなスタートを切った1年であった。大規模改修後、多くの利用者からは、明るく開放的で広々となった、と好評をいただいている。また、4年ぶりに開催した「トムハウスまつり」では、1日のみの開催ながら、コロナ禍を払拭する賑わいを見せ、今後の展開が楽しみな地域のお祭りとなった。

他の運営協議会と同様に、運営協議会委員の高齢化が課題となっているが、改修工事を終え第2のステージに立っているトムハウスが出来ることを実施し、身の丈に合った運営を継続していく予定である。これからも地域のコミュニティ活動を支援し、トムハウスを利用される方々のコミュニケーションの場として、気軽に楽しく利用できるように、施設の有効活用と適切な運用を行っていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1. 指定管理者について

施設名	貝取コミュニティセンター（貝取こぶし館）			
指定管理者名	貝取コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	協創推進室			
主な業務内容	貝取コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	歳入（使用料）	1,554	1,767	1,668
	歳出（指定管理料）	16,969	17,595	18,106

2. 指定管理者の施設運営状況

（１）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算	収入	指定管理料	17,412	18,038	18,583
		利用料金	-	-	-
		事業収入	2,368	2,521	1,495
		その他	233	267	1,034
		収入計（a）	20,013	20,826	21,112
	支出	人件費	14,264	14,669	15,086
		維持管理に係る経費	2,156	2,016	2,428
		事業実施に係る経費	3,439	3,843	3,314
		その他	154	298	284
		支出計（b）	20,013	20,826	21,112
	収支（a-b）		0	0	0
決算	収入	指定管理料	16,969	17,595	18,106
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,973	2,357	2,015
		その他	254	301	1,056
		収入計（c）	19,196	20,253	21,177
	支出	人件費	13,405	14,215	14,523
		維持管理に係る経費	2,417	1,763	2,430
		事業実施に係る経費	2,423	3,292	3,262
		その他	0	0	0
		支出計（d）	18,245	19,270	20,215
	収支（c-d）		951	983	962

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（２）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	30,977人	69,599人	46,256人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	18事業	23事業	25事業
事業参加者数	1,206人	2,105人	4,547人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。 施設利用については、新型コロナウイルス感染症流行前の館内の賑わいに戻ってきている。中でも貝取こぶし館はカラオケ活動が非常に盛んで、カラオケ設備のある和室は常に利用があり、非常に人気である。 本館独自の事業について、規模は従来どおりに戻り、参加者数も増えたことで活気が戻ってきて一つひとつの事業がとても盛り上がった。 夏と冬に計2回開催した「工作の日」では、Tシャツペイントや多摩そば作りなど普段家ではできないことをプログラムに入れて参加者に楽しんでもらった。 「こぶし館まつり」では、今回初めて青陵中の和太鼓部の出演がありオープニングを盛り上げていただいた。好天に恵まれ来館者も多く、早々に完売する模擬店もあり、大盛況であった。 貝取こぶし館の事業の多くは、地域団体との共催や地域ボランティアの協力を得ているものが多い。社会福祉協議会やネットワーク貝取・豊ヶ丘、青少協地区委員など様々な団体と交流し、普段から関係を築いている。また、普段貝取こぶし館を利用している団体に事業へ参加してもらうこともあり、登録団体とも良好な関係であることがうかがえる。 収入・支出については、備品の充実を図るとともに設備の修繕を行ったため維持管理に係る経費が前年度に比べ増加している。維持管理に係る経費は増加しているが、事業実施に係る経費は抑えているためバランスが取れている。
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数) 利用者懇談会 1回 令和6年2月3日 参加団体19団体 アンケート 1回 令和6年6月3,4日 回答数42枚 (結果の概要) 利用者懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった。「きれいで使いやすい」という声が多数挙がり、満足していただいていることが分かった。また、カラオケ機材の変更によるカラオケ料金の値上げを打診したところ快諾いただき、日頃から運営側と利用側で良好な関係を築けていることがうかがえる。 文化祭の時にに行ったアンケートでは、「楽しかった」「来年も来たい」という感想が多く、貝取こぶし館での事業を楽しみにしている方が多くいることが分かった。
--

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月28日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	良
	ギャラリースペースで四季折々の展示を行い、来館者が楽しめる工夫を行っているか	適
市民協働の推進	近隣の学校で行う「グラウンドゴルフ」や「大人と子どもの工作の日」等、世代間交流事業を実施したか（4種）	適
	「こぶし館文化祭」や「こぶし館まつり」や「カラオケ交流会」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（4種）	良
	「ロビーコンサート」等、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	利用者サービスの向上の項目について、自主財源を活用し、利用者から要望のあった備品を購入したり、より快適に過ごせるように網戸を設置したりしたため「良」とする。 市民協働の推進の項目では、「こぶし館まつり」で初めて近隣中学校の和太鼓部に演奏してもらい地域の学生の活躍の場を作ったことから、「良」とする。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

貝取コミュニティセンター運営協議会は、地域にふさわしい新たな文化を創られることを願い、明るく開かれた運営協議会を目指し日々活動している。

令和5年度は新規事業はないものの、随時事業内容の見直しや工夫を図り、参加者が飽きないような企画をしている。運営協議会のメンバー、スタッフが自ら楽しんで事業を開催しようという意思のもと活動しており、いつも活気に溢れている。

コミュニティセンター全館共通の課題として、運営委員の高齢化や委員、役員のなり手不足がある。貝取こぶし館は地域と一緒に実施できる事業へ徐々にシフトしていく方向性をとっており、令和5年度は地域の中学校にも事業を盛り上げてもらうなど、新しい関わりを増やしていった。運営委員のやる気はあるものの高齢化は避けられないため、力となる新人を取り入れるための試みを行っていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1. 指定管理者について

施設名		聖ヶ丘コミュニティセンター（ひじり館）			
指定管理者名		聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		聖ヶ丘コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制		無し			
選定方法		特命			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	1,136	1,188	1,196	
	歳出（指定管理料）	17,488	18,022	18,591	

2. 指定管理者の施設運営状況

（１）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	17,488	18,022	18,591
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,270	1,080	1,055
		その他	707	939	899
		収入計（a）	19,465	20,041	20,545
	支 出	人件費	14,273	14,593	15,087
		維持管理に係る経費	2,175	2,099	2,076
		事業実施に係る経費	2,806	3,226	3,248
		その他	211	123	134
		支出計（b）	19,465	20,041	20,545
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,488	18,022	18,591
		利用料金	-	-	-
		事業収入	708	809	1,118
		その他	716	926	922
		収入計（c）	18,912	19,757	20,631
	支 出	人件費	13,798	14,504	14,985
		維持管理に係る経費	2,095	2,059	2,129
		事業実施に係る経費	2,135	2,350	2,558
		その他	0	0	0
		支出計（d）	18,028	18,913	19,672
	収支（c-d）		884	844	959

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（２）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	30,013人	40,756人	55,770人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	16事業	25事業	37事業
事業参加者数	1,187人	3,324人	6,736人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下げられたことから、利用者人数は令和4年度と比較しても、15,000人以上の増加となり、利用率についても37.0%から40.3%と3ポイント以上の増加があった。引き続き感染対策を講じた上で継続して貸し出しを行っていく。また、飲食についても解禁したことによって調理室の利用も増えている。（昨年比2.7%増）

本館独自の事業については、新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下げられた影響により、徐々にコロナ前の状況に戻りつつある。引き続き感染症対策を万全にし、工夫を凝らして可能な限り実施していく。このような状況のもと今年度は「ひじり館まつり」を11月4日、5日に実施することができた。

コロナ禍後、4年ぶりに実施した事業として「ミニマラソン大会」を実施し、多くの地域の方の協力をいただいた。また、今年も引き続き「ポッチャをやってみよう」を開催した。話題となっているポッチャを聖ヶ丘地域で気軽に楽しんでもらおうということで開催した事業で、多摩市スポーツ推進委員の協力もいただき、参加者には大変好評だった。

毎年地域団体との意見交換の場として「地域連絡会」を開催している。ひじり館と周辺の地域団体が協力して積極的に事業を行っており、日頃から連携がとれている。令和5年度も、多摩大学と青少協と共催の「おにぎり握って食べる会」を4回実施し、合計で118名の参加があった。

収入・支出については、新型コロナウイルス感染症の引き下げに伴い、事業が増えたため事業費が昨年に比べて増加しているが、同時に事業収入も増えており、コロナ前の活気がもどりつつあると感じる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)	
利用者懇談会	1回 令和5年7月8日 参加団体21団体
利用者懇談会前にアンケート調査を実施 6月上旬～7月上旬	
(結果の概要)	
利用者懇談会をより充実したものにするため、懇談会実施前に利用者に対してアンケート調査を行い、施設の使用方や駐車場利用方法、サークル紹介等の意見があがった。あがった意見は役員会で検討後に意見の内容と検討結果をロビーで9月4日から11月まで提示した。	
利用者懇談会の際は、各団体からは設備の更新などの要望があり、ひじり館としては今後の大規模改修時に対応するとの回答をした。対応可能な要望に対しては速やかに取り組み、利用者に寄り添った対応をしている。	

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	歩行者専用道路や商店会に隣接するひじり館敷地内の花壇の管理を行い、来館者だけでなく近隣住民にとって心地よい空間を作ることができたか	良
市民協働の推進	併設されている図書館や学童クラブとの「子ども夏まつり」の共催等、世代間交流事業を実施したか（3種）	適
	多摩大学や青少協等の協力を得て実施する「みんなの食卓プロジェクト」等、地域団体と連携し、地域交流事業を実施したか（5種）	適
	桜の丘学園の校外学習受け入れや地域連絡会の開催など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、桜の丘学園の校外学習受け入れや地域連絡会開催のほかにも、地域の見守り活動参加や周辺大学と連携するなど様々な地域団体と協力関係を築いていることから、「良」とした。また、今年度は「ひじり館まつり」についても通常どりの開催ができたため「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

ひじり館ではだんだんとコロナ前の活気は取り戻しつつあるものの、令和5年度も若干の新型コロナウイルスの影響を受け、感染症対策を講じながらの事業実施であったが、事業内容などを変更して地域の方々に楽しんでもらう工夫をした。その中でも特に、利用者懇談会や地域連絡会といった様々な声を聴く機会を大事にしており、令和5年度はどちらも対面で実施した。日頃から連携をとっている自治会や近隣の学校、青少協などが一堂に会して意見交換を行うことで地域コミュニティの醸成を図っている。今後も連携と取りながら、共催事業などを実施してもらい、聖ヶ丘地域を盛り上げていただきたい。

コミュニティセンター全体でここ数年の課題となっている運営委員の高齢化や担い手不足について、館の広報紙で部会紹介をして運営委員がどのような活動をしているかを発信して新たな加入を試みている。また、地域出身の教師が聖ヶ丘中学校に赴任して、教師の声掛けに応じた有志の中学生が聖中ボランティアとして活動している。若年層の住民が増えているということで、運営協議会に入りやすい環境づくりを今後整えていく。

コミュニティセンター・図書館・学童クラブの複合館というひじり館の特徴を活かして、幅広い年代が憩う場の提供を努めていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1. 指定管理者について

施設名		愛宕コミュニティセンター（愛宕かえで館）			
指定管理者名		愛宕コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		愛宕コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制		無し			
選定方法		特命			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	642	703	672	
	歳出（指定管理料）	17,151	18,004	18,370	

2. 指定管理者の施設運営状況

（１）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	17,151	18,004	18,370
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,189	1,087	1,109
		その他	530	822	704
		収入計（a）	18,870	19,913	20,183
	支 出	人件費	14,146	14,682	15,018
		維持管理に係る経費	1,872	2,124	2,048
		事業実施に係る経費	2,170	2,484	2,627
		その他	682	623	490
		支出計（b）	18,870	19,913	20,183
		収支（a-b）	0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,151	18,004	18,370
		利用料金	-	-	-
		事業収入	980	886	1,234
		その他	525	818	689
		収入計（c）	18,656	19,708	20,293
	支 出	人件費	13,843	14,620	14,946
		維持管理に係る経費	1,975	2,131	1,927
		事業実施に係る経費	2,067	2,304	2,665
		その他	0	0	0
		支出計（d）	17,885	19,055	19,538
		収支（c-d）	771	653	755

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（２）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	9,804人	12,574人	17,114人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	15事業	20事業	25事業
事業参加者数	1,584人	3,309人	3,578人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。
施設利用については、令和4年度と比較すると+4,540人（+36.1%）で、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年と比較しても+1,096人となり、徐々に新型コロナウイルス感染症流行以前の状況に戻ってきている。
本館独自の事業については、昨年度コロナ禍以来の開催となった「かえて館まつり」を2日間開催し、ホールでの演技や演奏、会議室での作品展示、中庭での出店などで多くの参加者があり賑わいを見せた。また、本館では中央大学ボランティアセンターとの共催事業も活発で、かえて館まつりへの協力、昨年好評であった「中大生と遊ぼう！夏休みクイズラリーinかえて館」の引き続きの開催、新規の共催事業として「バラスポーツフェスタ」を開催。特に「バラスポーツフェスタ」では、見るだけではなく体験型の催しとなり、新たに親子世代や障がいのある方の参加もあり、地域のコミュニティ活性化が図られた。他にも、コロナ禍以来のサマージョイントコンサート、ミニシアター、ヨガ教室等のスポーツ事業及び高齢者スマホ教室等幅広いジャンルで予定した事業を実施することができた。
収入及び支出に関しては、新型コロナウイルス感染症による影響から回復傾向にあるため、施設の維持管理が減少している。事業費については計画どおりに事業を実施し、さらに追加で事業を実施することができたため、事業に関する経費が増加している。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）
利用者懇談会 1回 令和6年2月11日 参加団体14団体
アンケート 1回 令和6年1月28日～令和6年2月10日 参加団体112団体 回答数56件
（結果の概要）
利用者懇談会に先立ち、利用団体に向けてアンケートを実施。
より良く、より快適な利用について話し合いが行われた。
利用者から「印刷室の折り機の自由使用」についての要望があったが、現在は利用規約がないが、運営協議会で検討し利用できるように規約整備をしていく、といったように常に利用者目線に立った対応をしている。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年7月2日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	かえて館ニュースやホームページで、施設紹介やイベントの告知等を行い、新規利用者の誘致を図ったか	適
市民協働の推進	中央大学ボランティアセンターと連携して実施する「クイズラリー」の実施等、世代間交流事業を実施したか（2種）	良
	「かえて館まつり」の実施等、地域団体と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	「いきいきシニアサロン」等、公民館の活動との連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、中央大学ボランティアセンターと連携し、「クイズラリー」や「バラスポーツフェスタ」を実施することで、親子連れや障がいのある方の参加が増加し、地域の賑わいの創出に貢献することができたことから、「良」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

愛宕コミュニティセンター運営協議会は、地域コミュニティ活性化のために様々な事業を地域、各団体等との関係を大切にしながら実行することを目標にしている。今年度も昨年に引き続き、中央大学ボランティアセンターとの共催で「クイズラリー」を開催。また、新規に開催した「パラスポーツフェスタ」も大盛況であり、子ども・高齢者はもとより障がいのある方の参加もあり、新たなつながりができたことは、愛宕かえで館の創意工夫と若い力の融合によるもので、今後の事業展開のヒントになったものと思われる。今後も継続して魅力ある事業展開を期待したい。

当館においても運営協議会委員のなり手不足や高齢化が課題となっている。愛宕かえで館では運営協議会を活性化するために、前述したように大学生と連携して新たな取り組みを行うことができている。また、運営委員の高齢化も進む中で、運営委員や協力員が増えるような魅力ある事業を実施することを目標にしているため、引き続き愛宕かえで館の特色を生かした事業運営を行っていただきたい。

今後も「みんなで創る、みんなのかえで館」の原点を大切に、開館25周年に向けて地域活性化のために魅力あふれる事業を実施していくことを期待したい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1. 指定管理者について

施設名		唐木田コミュニティセンター（からきだ菖蒲館）			
指定管理者名		唐木田コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		唐木田コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制		無し			
選定方法					特命
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	1,356	1,568	1,577	
	歳出（指定管理料）	17,469	17,931	18,550	

2. 指定管理者の施設運営状況

（１）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	17,469	17,931	18,550
		利用料金	-	-	-
		事業収入	980	1,300	1,201
		その他	724	962	883
		収入計（a）	19,173	20,193	20,634
	支 出	人件費	14,743	14,817	15,220
		維持管理に係る経費	1,832	2,023	2,146
		事業実施に係る経費	2,598	3,218	3,131
		その他	0	135	137
		支出計（b）	19,173	20,193	20,634
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,469	17,931	18,550
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,027	1,632	1,403
		その他	727	976	887
		収入計（c）	19,223	20,539	20,840
	支 出	人件費	14,245	14,446	15,582
		維持管理に係る経費	2,261	2,367	2,095
		事業実施に係る経費	1,805	2,893	2,689
		その他	0	0	0
		支出計（d）	18,311	19,706	20,366
	収支（c-d）		912	833	474

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（２）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	32,712人	39,047人	42,819人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	15事業	27事業	38事業
事業参加者数	1,375人	4,475人	6,475人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。 施設利用については、令和4年度と比べると+3,772人（+9.7%）となり、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年と比較しても+4,979人（+13%）となり、新型コロナウイルス感染症前の賑わいを取り戻している。また、令和5年12月には貸室の利用率が62.8%と過去最高となった。 本館独自の事業については、ほとんどがコロナ禍前の事業形態に戻り、参加者も増えてきている。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた「キッズランチ」を復活し、約90人のこどもにカレーを提供した。おかわりする姿も見られ、こどもたちに喜ばれた。 新たな取組みとしては、昨年度復活した「からきだ菖蒲館まつり」で初めてキッチンカーを導入した。模擬店に比べ値段が高いことが懸念されていたが、当日は大盛況であった。また、「日曜朝市」では、野菜だけでなくパンや焼き菓子の販売も始め、ラインナップの充実を図るとともに地域団体との交流を深めている。 からきだ菖蒲館では毎年度、登録団体支援事業というものを行っている。からきだ菖蒲館に団体登録している団体と共催で事業を行うというものがある。令和5年度は「『上落合村の歴史』を読む会」を開催した。普段から登録団体とも交流し、コミュニケーションをとっているからこそ実現できる事業であるとうかがえる。 収入および支出に関しては、賃金の上昇により人件費が増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり維持管理に係る経費が減少したことや、各部会が工夫して事業費の支出を抑えたため、事業数は増えていながらも事業実施に係る経費は減少している。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数） 利用者懇談会 1回 令和6年2月24日 参加団体24団体 アンケート 1回 令和5年12月10日～令和6年2月3日 168団体 投書箱 常設 （結果の概要） 利用者懇談会では、館への意見や要望だけではなく、周辺施設の情報共有や前向きな感想が多数挙がり充実した内容となった。 アンケートでは、スタッフの対応についてほとんどが「とても良い」「良い」と回答しており、満足度が高いことが読み取れた。自由記述の部分でもスタッフについての意見が多く、「良い笑顔で親切」「対応が丁寧」など非常に高い評価を受けている。他には、ピアノの設置向きの変更について要望があり、アンケートを実施し、今後の検討課題としている。また、傘や杖を机やカウンターに掛ける際に滑り落ちてしまうという声に対しては滑り止めの備品を購入するなど、反映可能な要望については迅速に対応している。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月27日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	利用率の低いギャラリーを有効活用するため、未使用時は自由に勉強スペースとして自由に利用できるよう机や椅子を設置し、広く利用者に開放したか	適
市民協働の推進	併設されている唐木田児童館と夏休みこどもイベントの共催等、世代間交流事業を実施したか（2種）	適
	「からきだ菖蒲館まつり」や「日曜朝市」の実施等、地域団体と連携を取り、地域交流事業を実施したか（5種）	良
	多摩ニュータウン環境組合主催事業である「唐木田クリーンアップ作戦」への参加や、近隣公園の管理事業協力など、地域団体等の活動と連携・協力することができた	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
	セブン・イレブン記念財団助成事業の助成金を獲得し、「花いっぱい運動でつくる‘絆’活動」を行うことで地域に貢献しているか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、「からきだ菖蒲館まつり」では近所で運営しているキッチンカーを呼んだり、「日曜朝市」では新たにパンや焼き菓子の販売をするなど、地域の協力を得て創意工夫を行ったため「良」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和5年度、唐木田コミュニティセンター運営協議会の活動は活発であった。前年度に比べ実施事業数も増え、新型コロナウイルス感染症による事業の規模の縮小等をする事もなく、事業を実施すれば参加者がたくさん集まる人気ぶりで、“本来のからきだ菖蒲館”を取り戻したような賑わいがあった。

貸室の状況では、令和5年度12月期には過去最高の利用率となり、令和4年度の最高利用率を更新した。こうした状況は、常に利用者の立場に立ち、日常的に施設環境整備を徹底し利用者が安心して利用できるような取組みが評価されてのことと思われる。今後も利用者との良好な関係を築きながら誰もが楽しめる空間づくりに努めていただきたい。

コミュニティセンター全館共通の課題として、運営委員の高齢化や委員、役員のなり手不足がある。唐木田コミュニティセンター運営協議会は、令和5年度に運営委員が7名増加した。毎年徐々に協力員を含む運営協議会に関わる人の数が増えており、少しずつではあるが運営協議会の活動が地域に知られてきていることがうかがえる。また、ボランティア体験の受け入れも行い、短期のボランティアに運営協議会の活動を知ってもらい活動もしている。引き続き、人員確保や事業充実のために様々な試みをぜひ行っていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1. 指定管理者について

施設名		和田・東寺方コミュニティセンター（大栗川・かるがも館）			
指定管理者名		和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課		協創推進室			
主な業務内容		和田・東寺方コミュニティセンターの管理運営			
指定期間		始期	終期		
		令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制					
選定方法					
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）	878	1,206	1,324	
	歳出（指定管理料）	16,896	17,581	18,137	

2. 指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	17,339	18,024	18,494
		利用料金	-	-	-
		事業収入	440	400	520
		その他	321	603	737
		収入計（a）	18,100	19,027	19,751
	支 出	人件費	14,408	14,767	15,102
		維持管理に係る経費	1,731	1,972	2,094
		事業実施に係る経費	1,758	2,004	2,228
		その他	203	284	327
		支出計（b）	18,100	19,027	19,751
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	16,896	17,581	18,137
		利用料金	-	-	-
		事業収入	354	585	634
		その他	327	615	751
		収入計（c）	17,577	18,781	19,522
	支 出	人件費	13,406	14,292	14,414
		維持管理に係る経費	2,179	1,838	2,267
		事業実施に係る経費	1,410	1,938	2,018
		その他	0	0	0
		支出計（d）	16,995	18,068	18,699
	収支（c-d）		582	713	823

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（2）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者数	13,928人	23,000人	25,560人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	20事業	37事業	38事業
事業参加者数	930人	3,369人	5,345人

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P35「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。 施設利用については、令和4年度と比較すると2,560人（+11.1%）となった。平成30年の開館以来最多の利用者数となっており、“まちのリビングルーム”として地域に根付いてきていることがうかがえる。また、音楽室の利用が大幅に増えており、個人利用を開始したことが大きな要因であると考えられる。 本館独自の事業について、「健康体操」が非常に人気で、令和5年度の延べ参加者数が1,000人を超えた。来年度以降も実施していく方向である。全館事業である「かるがも館まつり」は前年度の参加者数の約2倍の1,500人が訪れ、盛況に終わった。 普段より、小学生から大学生まで若い世代の来館が多いかるがも館では、世代間交流事業を多数実施している。「こども将棋教室」やコンサート、平和イベントや「打ち水日和」など、子どもに係る事業が多い。最近では、大人向けの「将棋サロン」に将棋が上達した中学生が参加する姿も見られるなど、幅広い世代の参加が増えている。 収入及び支出に関しては、事業実施に係る収入が増加しており、その分を事業実施のための支出に充てており事業の充実を図ることができている。
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数) 利用者懇談会 1回 令和6年2月6日 参加団体11団体 アンケート イベント開催時(37回) 498人
(結果の概要) 利用者懇談会では、アンケート集計結果に基づいて意見交換が行われた。コマ割りの検討については、3回のアンケートを経て現状通りという声が多く見られたため、コマ割り変更については行わないということになった。他には、ロッカーの増設や館内掲示板など、館に対する要望が多く挙がった利用者懇談会だった。ロッカーの増設については、使われていない運営協議会用のロッカーを移設し、利用者が使えるようにした。館内掲示板については、テレビの下にホワイトボードを設置し見やすくした。 日頃の利用者の声としてはフリースペースのBGMの音量について静かな状態を求める声が多いため、耳障りのない曲を選曲、また、音量にも気を配るよう心がけている。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年5月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	子育てプレイルームについて、夕方以降の利用率が低いことから、幅広い年齢層が使用できるよう工夫したか	適
市民協働の推進	「夏の虫捕り」等、世代間交流事業を実施したか	適
	「かるがも館まつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか(3種)	適
	同一エリア内にある三方の森コミュニティ会館の活動との連携・協力することができ	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、三方の森コミュニティ会館との連携については令和5年度の実績は無いものの、令和6年度の事業実施に向けて動いているため「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類: 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会は、開館当初から「まちのリビングルーム」を館のコンセプトとして、幅広い世代が気軽に立ち寄れるような工夫を施しながら館の運営を行っている。開館から6年、1階のフリースペースは小学生から高齢者まで幅広い世代の来館が常時あり、まさに「まちのリビングルーム」として定着している。

事業数は令和4年度と大きくは変わらないものの参加者数が増えており、より多くの人に楽しんでもらえるような内容を考えて事業を実施した成果であると受け取れる。また、広報紙やホームページでの周知の効果も出ているとみられ、コロナ禍を経てかるがも館の運営が地域に浸透してきているのではないかと考えられる。

コミュニティセンター全館共通の課題として、運営委員の高齢化や委員、役員のなり手不足がある。かるがも館では特定の事業に参加する協力員制度があり、年々協力員が増えている傾向にある。また、近隣大学との連携事業を計画するなど、地域団体と協力して事業を実施することも考えている。引き続き課題解決に向けて様々な試みをぜひ行っていただきたい。

指定管理者 管理運営評価シート（令和5年度）

コミュニティセンター全館（9館）の総括（収支や利用状況、運営の状況等）

【概況】

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類相当となり、様々な制限が緩和傾向になっているものの、令和5年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらの館の運営となった。施設利用者や事業参加者の数は増加傾向にあり、事業については、一部で規模の縮小や実施方法の変更があったものの、館の運営及び事業実施において、各館の運営協議会がその時の状況に応じて対応し、適正に業務が行われた。

また、館によってはコロナ禍前の令和元年度より参加者が増える事業もあり、コロナ禍前の活気が戻りつつあることが認められる。

【利用状況について】

利用者数については、全9館の合計で302,005人であり、令和4年度と比べて32,695人（＋12.1％）の増加となった。

いまだ若干の新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、利用者数は増加に転じている。新型コロナウイルス感染症が蔓延した当初に比べ、感染症に対する利用者の意識も変わり、各館でも感染症予防対策を徹底しながら運営した結果、利用者の活動が増加したものと考えられる。

また、飲食の制限が緩和されたことで、多くの館では調理室の利用率が増加した。

【収支について】

各館の収入の根幹となる「指定管理料」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の館では、計画通りに事業を実施できなかったことから、市と各運営協議会が協議を行い、不用額を返還してもらった。

施設の貸出に伴う「使用料収入」については、全9館の合計で約11,227千円であり、令和4年度と比べて約471千円（＋1.3％）の増額となった。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響下においても、利用者の活動が徐々に増加したことが収入増加の要因である。

支出については、令和4年度と比べると9館すべてで増加している。館により新型コロナウイルス感染症の影響下での対応は若干異なるが、令和4年度と比べて事業を行うことができた館で事業費が増加したものと考えられる。

【課題】

全館共通の長年の課題として、運営協議会委員の高齢化及び担い手不足があげられている。

これを解消するために、各館ではコミュニティセンターの今後のあり方を考え、様々な試みを行っているところである。具体的には、館の事業等に参加した人に事業の運営に協力してもらう協力員制度を実施している館や、大学生のボランティアと協力して事業を実施している館がある。開館後約30年が経過しているコミュニティセンターもあり、施設の老朽化による設備の不具合が頻発している。一方で長年の自治会等の地域との関係はより根強いものになっている。今後もこの根強い関係を活かして、課題の解決に向けて引き続き取り組んでいきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和 5 年度）

1.指定管理者について

施設名		多摩市立総合体育館、多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園 ※ 屋外スポーツ施設(19施設)：一本杉公園野球場、関戸公園野球場、諏訪南公園野球場(兼球技場)、諏訪北公園野球場、貝取南公園野球場、一本杉公園庭球場、永山南公園庭球場、諏訪北公園庭球場、貝取北公園庭球場、愛宕東公園庭球場、一ノ宮公園庭球場、連光寺公園庭球場、奈良原公園庭球場、諏訪南公園球技場(兼野球場)、貝取南公園球技場、一ノ宮公園球技場、宝野公園球技場、和田公園球技場、大谷戸公園キャンプ練習場 ※ 多摩東公園(3施設)：武道館、陸上競技場、多摩東公園庭球場		
指定管理者名		多摩市健幸スポーツパートナーズ		
施設所管課		くらしと文化部スポーツ振興課、環境部公園緑地課		
主な業務内容		市民に安全で快適なスポーツ・レクリエーション活動やふれあいの場、社会参加の場を提供することにより、市民の健康及び福祉の増進に寄与する施設としての機能を十分に発揮できるよう、各施設の適切な管理運営を行う。		
指定期間		始期 令和2年4月1日	終期 令和7年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	歳入（使用料）			
	歳出（指定管理料）	(注1) 190,455	202,618	199,365

2.指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	182,775	186,705	205,841
		利用料金	93,850	92,460	92,312
		その他	2,377	2,377	5,777
		収入計 (a)	279,002	281,542	303,930
	支 出	人件費	117,735	118,269	123,259
		維持管理に係る経費	147,251	149,857	166,080
		事業実施に係る経費	11,016	11,016	12,191
		その他	3,000	2,400	2,400
		支出計 (b)	279,002	281,542	303,930
	収支 (a-b)		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	190,455	(注1) 202,618	(注3) 199,365
		利用料金	81,373	84,742	83,397
		その他	1,049	1,323	7,125
		収入計 (c)	272,878	288,683	289,887
	支 出	人件費	126,675	118,149	123,007
		維持管理に係る経費	134,057	165,117	153,631
		事業実施に係る経費	5,557	9,099	9,590
		その他	3,000	2,400	2,400
		支出計 (d)	269,289	294,765	288,628
	収支 (c-d)		(注2) 3,589	-6,082	(注4) 1,259

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部施設の臨時休館を行ったことから、指定管理者の利用料金収入が大幅に減少したため、毎年度、損失補填をしています。市と指定管理者の協定により、決算額が黒字となった場合には、損失補填額を上限として当該利益額を市に返還することとしています。

(注1) 令和3年度の新型コロナウイルスによる減収分に対する損失補填額7,679千円を含みます。

(注2) 黒字額3,589千円は令和4年度に市へ返還されています。

(注3) 令和5年度の光熱水費6,476千円は高騰対策として予算増額した分であり、国より補助が出たことにより指定管理施設の光熱水費が抑えられたため市に返還されています。

(注4) 黒字額1,259千円は令和6年度に市へ返還される予定です。

(2) 利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合体育館（個人開放）	41,394	62,466	75,522
総合体育館（団体利用）	79,752	98,744	105,551
野球場	52,735	59,486	80,465
球技場	49,764	47,784	57,267
庭球場	161,382	164,523	143,897
キャンプ練習場	314	3,650	5,272
武道館	30,369	47,927	45,013
陸上競技場	15,996	24,742	19,377
合計	431,706	509,322	532,364

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

令和5年度は、指定管理第3期目の4年目として、より施設の利用者のニーズに沿った、新たな事業・サービスを実施しました。

維持管理

総合体育館では、保安灯、機械室内の送風機の修繕のほか外壁調査を実施し、改修工事から年数が経っているため設備の劣化が進んできていると確認しました。陸上競技場は、強雨後は女子更衣室、B1Fの廊下を中心とした雨漏りに加え、梅雨の時期は降雨後に湿気が酷くB1Fは壁・天井・床の前面に結露が発生するため対策が必要となっています。屋外スポーツ施設では、諏訪北公園改修工事後の野球場に小石が露出が多く見られるため定期的な回収を行っています。その他、多摩東公園の維持管理として、視認性の確保、競技場周辺に関しては適度な閉鎖性の確保をするため、場所に応じて外周植栽の伐採等を行いました。今年度は、施設の利用停止にいたる不具合や事故もなく、施設の安定稼働と機能維持を達成することができました。

事業実施状況

自主事業のレストラン運営について、事業者を変更するとともに什器備品の入替を行い大幅な改善を図りました。以前に比べレストランの雰囲気は明るくなり、サービスと共に利用者数が向上していると感じます。また、事業者に社会福祉法人正夢の会「ワークセンターつくし」を選定し、障がい者への就労機会および活躍の場を提供しました。大谷戸公園キャンプ練習場ではオンライン受付の開始、貸出備品の拡充、運営日を拡大しました。その他事業として、「多摩健康フェスタ」を体育館と多摩東公園で初開催、J1に昇格をした東京ヴェルディによる「サッカー教室」、市と共同開催の「親子キャンプ教室」、市内指定管理者二幸産業・NSPグループと共同開催の「ノルディックウォーキング体験」など今までになかった取組みを行いました。

また、市が開始した利用料金の領収方法の拡充（オンライン、窓口キャッシュレス決済の導入）、多摩東公園の駐車場有料化で混乱を招かないよう、利用者に丁寧に説明や対応をしました。

収支・利用状況

収支に関しては、決算が約△699千円となったが、指定管理者の提案とあり、自主事業売上から本体事業に約1,958千円を繰り入れてため、最終決算は1,259千円となった。利用状況はコロナ禍前に戻りつつあるが、陸上競技場についてはコロナ禍に利用していた学校等が自分の学校に戻り始めているため利用者が減少傾向にあります。

3. 利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）
時期：令和5年11月1日～11月30日 方法：体育館、武道館、競技場、一本杉公園野球場管理棟において記入方式及びWeb回答方式で実施 回数：1
（結果の概要）
回答数447件
回答者全体の男女比率はほぼ同数でした。年代は、60代以上が45%であり多摩市内に在住の方が61%でした。施設の利用頻度は週1回程度の方が38%と最も多く、次いで週2～3回程度の方が30%でした。施設利用を通して運動が習慣化されている方が多いと捉えております。スタッフへの満足度は78%が満足もしくは、とても満足と回答いただいております。接客に関しては一定の評価を得ております。施設の設備、清掃への満足度は、満足もしくはとても満足が74%と回答いただきました。 全施設に共通することとして、職員の挨拶や対応について評価を得ていることがあります。清掃についても手入れが行き届いているなどお褒めの言葉を頂いております。 【体育館】事業について、子どもが楽しめるイベントを増やしてほしいと要望がありました。設備について、第1・2スポーツホールへの空調設置に関する要望が多くありました。 【武道館】事業について、週末にヨガやピラティスなどイベントを開催して欲しいと要望がありました。設備について、トイレのウォッシュレット化や暖房便座の設置希望、館内の飲食スペース設置について要望がありました。その他、多摩東公園駐車場の有料化に関する意見が多くありました。 【陸上競技場】事業について、有名選手を招いたクリニックを希望する意見が複数ありました。設備についてはナイター設備の設置希望がありました。 【屋外スポーツ施設】事業について、子どもができるキャンプ教室、有名選手を招いたクリニックの開催希望がありました。落葉時期は落葉に関する意見をありました。その他、駐車場の駐車可能台数の不足、有料化への意見が複数ありました。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年7月4日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	テニス教室などの自主事業において、子どもを対象とした教室を開催したか	適
	ホームページやSNSなどを通じて、利用者が必要な情報を取得できるように工夫を図ったか。	適
	自主事業の教室やイベントに参加しやすくなるよう、24時間受付可能な事業専用のWEB予約システムを導入したか。	良
	屋外スポーツ施設、総合体育館、武道館、陸上競技場、多摩東公園などで、新たな自主事業開始や自主事業の充実化を行えたか。	良
	武道館や陸上競技場の施設のみならず、公園利用者へサイクリストの立ち寄りスポットを視野に入れて、休憩スポットの設置や備品のレンタルなどを通じて、利用者の利便性向上を行えたか。	適
	武道館利用者やサイクリストの活動をサポートするため、総合体育館と同じように、武道館で栄養補助食品等の販売を開始したか	適
	障がい者スポーツ教室やイベントの運営補助等、ユニバーサルスポーツ事業の開催ができたか	適
市民協働の推進	総合体育館レストランコーナーについて、より多くの方にご利用いただけるよう運営方法の見直しを行ったか。	良
	市内スポーツ推進に関わる協力や市内事業者への業務委託等、多摩市体育協会や協会加盟団体、多摩市シルバー人材センターと事業連携し、市内スポーツ推進に関わる協力や業務委託の発注等を行ったか	適
経費の削減や歳入増加	自主事業により利益が生じた場合は、生じた利益の50%を指定管理業務の財源に繰り入れたか	適
	市との広告掲出委託による広告料収入により歳入の確保ができたか	適
評価の説明	・自主事業では、今年度より体育館で「運動遊び教室」、陸上競技場で「陸上教室」、子育て世代を対象とした「こども預り事業」、「多摩健幸フェスタ」と題した大規模イベント、一本杉公園野球場での「ジャイアンツアカデミー親子野球教室」、陸上競技場での「ヴェルディー サッカー教室」、有名選手・障がいのある選手を講師に招いての「走り方教室」、大谷戸公園キャンプ練習場での「親子キャンプ教室」を開催した。 ・武道館で稼働率の低い特定曜日の畳面を使用して教室事業を3教室新設した。 ・総合体育館のレストラン事業で、運営業者の変更を行い4月にリニューアルオープンした。運営業者の他テーブル・椅子などの什器備品も更新し、利用者にも目に見える形で「リニューアル」されたとアピールできた。新たな運営業者は社会福祉法人正夢の会の「ワークセンターつくし」に委託し、障がい者への就労機会の提供と活躍の場の提供となっている。 ・多摩市体育協会、協会加盟団体、多摩市シルバー人材センターと引き続き事業連携をしている。 ・自主事業売上を指定管理収入に繰り入れることで安定した運営を行った。	
評価項目以外の改善取組	屋外施設の管理基準には一部現状と合わないものがあったが、実施前に市と指定管理者で協議を行い現状に則した管理を行った。	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

体育館では、レストラン事業者や什器の入れ替えを行いリニューアルオープンしたことでレストランの利用者数も増えている。事業者も多摩市内の障がい者自立支援を行っている団体を選定したことで、障がい者の自立支援及び健常者との相互理解の一助となることが期待される。

武道館では、売店設置による利用者サービスを充実させたほか、稼働率の低い時間帯を自主事業としたことより、利用者数の増加、施設の有効活用が期待できる。

事業では、指定管理独自の大型イベント「多摩健幸フェスタ」を体育館と多摩東公園で初開催、J1に昇格をした東京ヴェルディによる「サッカー教室」、市と共同開催の「親子キャンプ教室」、二幸産業・NSPグループと共同開催の「ノルディックウォーキング体験」など今までになかった取組みを行い、市民がスポーツに触れる機会を創った。

その他、利用料金の領収方法の拡充（オンライン、窓口キャッシュレス決済の導入）、多摩東公園の駐車場有料化など、市が開始したサービスに対し柔軟に対応し、かつ利用者への丁寧な説明を行ったことにより、スムーズにサービスを開始することができた。

また、多摩市体育協会、協会加盟団体、多摩市シルバー人材センター、二幸産業・NSPグループとの連携の他、スポーツ推進委員に副館長を任命することでスポーツ推進活動の潤滑な運営と地域連携に寄与した。

施設運営において重要な「利用者の声」を拾う手段として、ご意見箱の設置、施設宛てメール、利用者懇談会の他に、今年度はWeb回答を可能とした。

来年度は、更なる施設の利用者回復、収入の増大、サービス向上、施設の有効活用を目標とし、適正な予算配分と施設の維持管理の質を向上させていく。

指定管理者 施設運営評価シート（令和5年度）

1.指定管理者について

施設名		多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター			
指定管理者名		二幸産業・NSPグループ			
施設所管課		くらしと文化部 スポーツ振興課、健康福祉部 福祉総務課 高齢支援課			
主な業務内容		施設の管理運営、市民の健康推進及び生涯スポーツの振興並びに福祉の増進を図るための事業施設			
指定期間		始期	終期		
		令和4年4月1日	令和9年3月31日		
利用料金制		有り			
選定方法		公募			
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	歳入（使用料）				
	歳出（指定管理料）	430,155	467,742	463,997	

2.指定管理者の施設運営状況

（1）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	388,751	423,116	465,000
		利用料金	171,960	171,805	175,705
		行政財産負担金	6,300	6,190	5,500
		自主事業	5,827	6,000	6,000
		その他	3,902	5,110	5,890
	支 出	収入計（a）	576,740	612,221	658,095
		人件費	321,377	354,645	365,883
		維持管理に係る経費	214,350	203,203	245,546
		事業実施に係る経費	41,013	54,373	46,666
		その他	0	0	0
		支出計（b）	576,740	612,221	658,095
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	（注1）430,155	（注2）467,742	（注3）463,997
		利用料金	102,446	134,434	156,663
		行政財産負担金	6,129	6,759	6,890
		自主事業	5,399	6,000	6,000
		その他	1,613	1,823	2,366
	支 出	収入計（c）	545,742	616,758	635,916
		人件費	316,418	354,633	365,871
		維持管理に係る経費	192,464	202,639	212,280
		事業実施に係る経費	36,424	59,543	57,706
		その他	0	0	0
		支出計（d）	545,306	616,815	635,857
	収支（c-d）		（注4）436	（注5）-57	（注6）59

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（注1）令和3年度損失補填額36,312千円（新型コロナ影響による減収分に対するもの）を含みます。

（注2）令和4年度損失補填額34,584千円（新型コロナ影響による減収分に対するもの）を含みます。

（注3）令和5年度市への返還額1,003千円（新型コロナの影響による減収分及び光熱水費単価見積過多による返納分によるもの）を含みます。

（注4）黒字額436千円は令和4年度に市へ返還されています。

（注5）赤字額57千円は指定管理者負担額となります。

（注6）黒字額59千円は令和6年度に市へ返還される予定です。

(2) 利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
温水プール				
施設利用者数		274,194	351,224	408,777
内訳	プール	216,719	279,356	321,551
	トレーニングルーム	36,403	45,682	57,438
	ミニスポーツルーム	21,072	26,186	29,788
総合福祉センター				
施設利用者数		57,741	77,823	86,848
内訳	一般貸出	22,994	37,943	40,549
	センター事業	34,747	39,880	46,299
利用者団体件数		4,137	5,543	5,569
内訳	一般貸出	2,715	3,998	3,941
	センター事業	1,422	1,545	1,628
登録団体数		600	592	625
稼働率		49.6%	61.4%	61.6%

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

■利用状況について 温水プール・トレーニングルーム・ミニスポーツホールでは、令和5年7月から年間利用券、回数利用券、団体利用料のキャッシュレス決済が利用できるようになり、利用者の利便性向上を図った。 また、令和5年12月15日に発生した多摩清掃工場電気設備火災による高温水供給停止時には、ボイラー炊きによる営業継続を依頼し、プール温水維持、暖房空調など市民サービスを継続いただいた。 総合福祉センターと老人福祉センター事業では、施設の利用方法の改正や同好会活動支援の変更を行うため、指定管理者とともに利用者の方々に全体会や分科会を開催し、令和6年度からの改正にご理解をいただいた。 このほか、多摩市監査委員による総合福祉センター及び老人福祉センター事業の監査を受け、予算管理の在り方や収支計算書と収支報告書の表記の整合性について指摘があった。今後は正確な経理はもとより、統一性のある管理比較しやすい帳票を作成するよう依頼した。 全体では、10月から始まったインボイス制度に対応するため、機器設定や書式変更を行った。 ■主な利用者増加策について 【温水プール】 温水プール全体の利用者数は、408,777人（前年度比で57,553人増）と回復傾向にある。 また、3年目となる小学校水泳授業事業では、学校関係者や生徒からも好意的な意見をいただいた。 今年度は受け入れる学校数を増やし、より多くの小学生を受け入れて水泳授業を行った。若年層の利用拡大は、施設の周知にも効果があった。 この他、令和5年度は、アクア祭や快汗スポーツDAYなどのイベントを開催して集客力向上に努めると共に、従業員に対し利用者への接遇を強化して指導を行っていただいた。また、カフェテリアの営業を再開し、利用者サービス向上、利用者増対策を図った。 衛生面では、繁忙期においても、ジャグジープール換水を定期的に行い、過マンガン酸消費量の抑制に努めた。 【トレーニングルーム】 令和5年度のトレーニングルームは、57,438人（前年比11,756人増）となった。 トレーニング室床面改修を行うことで、より運動しやすい環境を整備していただいた。 また、SNS（インスタグラム、X：旧ツイッター）を活用し、イベントや事業をPRすることで顧客拡大を図った。 【ミニスポーツホール】 令和5年度のミニスポーツホールは、29,788人（前年比3,602人増）となった。指定事業の教室定員をコロナ前に戻すなど、定員拡大、利用者増加を図った。 引き続き、教室プログラムの見直し、魅力ある教室プログラムを提供していく。この他、2年度目を迎えたキッズダンスも、福祉棟多目的フロアで発表会を開催し、子供たちの日頃の練習の成果の発表の場をもち、充実させていく。 【総合福祉センター】 総合福祉センターでは、令和5年5月8日からコロナ感染症が「5類感染症」に移行し、マスクの着用についても、個人の判断とした。しかし、高齢者や障害のある方などは重篤化しやすいため、職員には「うつさない、うつらない」を基本にマスクの着用を推奨する形で、窓口業務や事業運営を行った。 令和5年度の総合福祉センター利用者は、コロナ前の令和元年度（2019年度）比78.52%となった。昨年度比9,025人増加、伸び率で8.16ポイント伸びたが、コロナ前の利用者数には回復していない。 運営面では、令和6年4月から老人福祉センター同好会の支援制度の変更に伴う総合福祉センター条例の改正があり、同好会の一般団体移行や施設利用について指定管理者と連携し、「総合福祉センター・老人福祉センター事業意見交換会」を開催し、今後の施設利用の在り方について利用者の皆様と意見交換を行った。変更により生じる様々な不安な点に耳を傾け、丁寧に説明をしてご理解をいただいた。特に、予約方法の変更は、パソコンに不慣れな高齢者にとって大きな課題であったが、自分たちでパソコンやスマートフォンから施設予約できるように無料パソコン相談会や、予約システム操作方法説明会などを数多く開催してデジタルデバインド克服の場も積極的に設けた。 また、施設利用者から要望のあった、希望する一般団体がロッカーを利用できるように、3階福祉機器展示コーナー奥の活用を提案し、ロッカールームの整備、設置を行った。併せて、貸出手続き、ロッカーの割り振り調整、決定などを行い、令和6年度から稼働している。 また、今年度オープンした多摩市立中央図書館に連絡して、センター3階の図書コーナー充実のため、書籍・図書資料の配架について相談、連携を図ることができた。 この他、指定管理者等と連携し、外壁レンガ落下防止工事を実施し、利用者の安全確保を図った。	
--	--

【老人福祉センター】

老人福祉センターの運営は、指定管理者の事業として運営して3年目となる。

令和5年5月8日からコロナ感染症が「5類感染症」への移行に伴い、6月からセンターのお風呂利用は、予約制、入れ替え制のまま、1回あたりの利用者数は男女とも5人から8人に、利用時間も45分から50分間に拡大した。また、囲碁の日やカラオケの日を再開し、利用者増を図った。

これらの事業拡大から、老人福祉センターの利用者は、昨年度に比べ、6,240人増(117.34%)となった。

運営面では、令和6年度からの同好会活動の支援制度の変更は大きな変革になることから、長年施設を利用されてきた皆様から多くのご意見、ご要望を伺った。指定管理者と共同で開催した説明会や窓口等で親切、丁寧に説明してご理解をいただいた。

前年度から再開した「春の発表会」や「映画の日」も多くの方に参加していただき、利用者や来館者からは高評価をいただいた。やはり、発表の場があるということはやる気や生きがいにつながると感じた。

また、寿大学については、フレイル予防の講座を新設するなど、文化的で、健康を維持するための多くの講座を開催した。寿大学の延べの受講者は、昨年度に比べ、1,834人増(156.03%)となった。

ビリヤードコーナーや囲碁将棋コーナーなどもあり、今後も、各種事業を通して多くの高齢者が集える場所になるように努めていく。

■両館共通の取り組みについて

・「子ども110番」登録

昨年の「赤ちゃん・ふらっと」登録に続き、今年度6月から、「子ども110番」に登録した。子供たちが安全で安心して遊び、集える場所であり、いざというとき気軽に逃げ込める場所にしていく。

・ポッチャTAMAカップに指定管理者チーム参加及び大会協賛

・ポッチャフレンドカップに指定管理者チーム参加

・ウォーターサーバー事業導入(いこいの広場に設置)

・アイランドWEEK(市生涯学習推進課事業協力)紹介パネル・クイズ設置

・公衆無線LAN(無料Wi-Fi)館内設置(共用部分)

・まちの環境美化の取組み(まち美化キャンペーン、唐木田クリーンアップ作戦)

・自衛消防操法大会参加(2号消火栓混合隊 3位入賞)

・食料等無料配布事業へ協力

ゆるたまネット(事務局:多摩市社会福祉協議会)が行う「食料等無料配布事業」に実行委員及び二幸産業・NSPグループとして参加し、日常生活に苦しむ方々に食料を配布し元気づける活動に参加し、地域の社会貢献活動に協力いただいた。

・多摩市シェアサイクル設置協力(温水プール・総合福祉センター)

■自主事業について

福祉センターでは、中国伝統編み物「アジアノット教室」や「点心教室(調理実習)」など新たな取り組みを企画・実施した。

■イベントについて

大人から子供まで、また、ご家族で楽しめるイベントとして、両館が協力して迎春甘酒ふるまい、新春もちつき大会、豆まき、雛飾り、こいのぼり、七夕笹飾りイベント、スイカ割大会、ハロウィンイベント、クリスマスイベントなどを開催して季節感を味わっていただくことができた。

■収支状況について

【収入】

令和5年度に入っても新型コロナの影響を受けたが、プール棟では利用料金収入が156,449,876円で前年度比116.54%と増加した。しかし、令和5年度年間利用料金収入予算に対しては、89.20%にとどまり、まだ利用料金収入が回復していない状況にある。

このほか、温水プールでは、ウクライナ情勢をはじめとする諸影響で、エネルギー使用料の上昇が見込まれたことから、単価の上昇を見込んだが、上昇の鈍化や国の補助により光熱水費支出額が予算額を大きく下回った。このことから、指定管理者との協議において、緊急対応したプールエリア塗装補修等の修繕費、高温水供給停止に伴うガス代等を流用した分を除いて、13,855,614円を「管理基準16リスク分担」により返納いただいた。

また、プール利用料金収入では、新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入が予算額を大きく下回り損失が発生したため、予算額と収入済額との差額である、18,947,124円を基本協定書第38条に基づき補填した。この結果、上述の返還分と補填分を相殺して、5,091,510円を補填(入金)した。

また、総合福祉センターにおいても、温水プールと同様に光熱水費支出額が予算額を大きく下回ったことから、緊急で必要となった排煙窓オペレーター改修工事や利用者用ロッカー室設営のためのパーティション移設などの修繕費や、性能が劣化したプロジェクターと故障した多目的フロア音響設備更新のための備品購入費、また、高温水供給停止に伴うガス代等の流用した分を除いて、6,094,979円を「管理基準16リスク分担」により返納いただいた。

【支出】

【消耗品】

・プール水殺菌薬剤が次亜塩素酸ソーダに切り替わり、予算に対し437,280円削減。

全体のやりくりで、温水プール5,203,052円、総合福祉センター1,187,107円

【印刷製本費】

・前年度に制作した施設案内に残部があったため未執行となった。

【光熱水費】

・両館の光熱水費のうち電気料金単価とガス料金単価の上昇は鈍化し、国の補助があったことから、光熱水費支出額が予算額を大きく下回った。

・令和5年12月15日に発生した多摩清掃工場電気設備火災による高温水供給停止時には、ボイラー炊きにより営業を継続したため、ガス使用料が増大したが、すべて予算額の範囲内で支出し、不用額を返還いただいた。

【修繕費】

(温水プール)

・可動床修繕費で予算に対し1,059,730円超過。

主な内訳 可動床ピンハウジング交換415,800円

可動床緊急メンテナンス479,380円

可動床タイル破損修理1,297,670円

・トレーニング機器修理予算に対し１，２５５，１５５円超過。利用者増による使用負荷増による老朽化も加わり、修繕が急増した。自動ドア修理費等を流用して対応した。

・修繕費その他では、プール長期休場中に対応すべき緊急修繕に、光熱水費の予算残額の一部を流用して対応した。

主な内訳 プールエリアガラス交換４４８，０５７円
採暖室ガラス修理１２８，７００円
ろ過装置設置工事２１３，４００円
待合ホール側溝新設工事８０３，０００円
トレーニングルーム床面改修１，２９７，６７０円

（総合福祉センター）

光熱水費の不用額の一部について、施設の老朽化対応や利用者の満足度向上のための修繕費として支出した。

【保険料】

・新型コロナウイルス感染症からの回復により利用者人数の増加で保険料が増加し、予算に対して１７７，３２０円超過した。

主な内訳 指定管理者賠償保険料
（温水プール）８４２，６６０円
（総合福祉センター）８４２，６６０円

【広報宣伝費】

（温水プール）

主な内訳 ホームページ管理費 ２３１，９３７円
広告協賛金 １８６，６７０円
折込チラシポスティング等 １８２，３９９円
顧客満足度調査 ２２１，６５０円

【手数料等】

（老人福祉センター）

主な内訳 寿大学講師料１，５７１，２７６円

【保守点検費】

（温水プール）

・競泳用自動計測装置保守点検は、水泳大会が開催できないため、指定管理者と協議して当面実施しないことから未執行とした。

【業務費】

（温水プール）

・施設植栽業務費は高木剪定、蜂の巣駆除等により２６４，０００円超過。

・施設廃棄物業務費はコロナ感染防止対策品等処分量増により１９０，３３０円超過

（老人福祉センター）

・春の発表会会場設営費 ６７６，７７５円

【使用料及び賃借料】

（温水プール）

・入退場システムリース料 ４，０９２，０００円
・公衆無線LAN設置（プール棟） ２６４，０００円
・トレーニング機器リース ４，２９７，４７６円
・ネコの目システムは現ホームページで対応可能なため今年度末で解約した。

【工事費】

（温水プール）

・トイレ洋式化工事 ９６８，０００円

（総合福祉センター）

・水浴訓練室漏水工事３６４，５４０円

【備品購入費】

・備品購入費で予算９１３，０００円に対し５１１，３４４円超過。突然の故障による買い換え等によるものである。

（温水プール）

・エアコンプレッサー ４２，７６２円
・体組成計（トレーニング室）２８０，５００円

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
令和6年2月初めから3月末までを調査期間として、年に1回、両施設利用者を対象に、別々に利用者の満足度調査を実施。
来館者に対しアンケート用紙を声掛けにより手渡しし、協力を依頼した。回答者に対し粗品を進呈した。
満足度レベルは5～1の5段階。加重平均値を算出。レベル度に合わせSABCDEFの7レベルで表記。

(結果の概要)
温水プールではサンプル数285人。
アクアブルー多摩の利用のしやすさについて4.23、前は4.16で前回より向上した。(Aランク)
アクアブルー多摩の職員(スタッフ)への満足度について4.25(Aランク)で前回の4.08より大幅に向上した。
アクアブルー多摩の全体としての満足度は4.23で前回の4.27より微減したが、「大変満足」「満足」を合わせると90%以上の利用者は満足して利用されているものと考え。

自由意見では、プールやトレーニング室の利用方法、利用時間などのご要望、ご提案を多くいただいたため、運営の参考にしていく。また、プールと更衣室の連絡通路の水濡れについては、通路に側溝を付設したため、今後解消されると考えている。そのほか、トレーニングマシンの修理への不満は今後も早く修理できるよう努めていく。

総合福祉センターではサンプル数200人。
職員の満足度は3.82(Bランク)で前回の3.72より向上した。施設の総合的な満足度は3.83(Bランク)で前回の3.70より向上となった。新型コロナの影響は回復しつつある。新しい講座や教室のご要望もいただいたため、利用者増加の参考にしていく。また、昨年は、同好会制度変更に対するご意見を多くいただき、今年は、施設予約についてのご意見を多くいただいている。福祉センターでは、予約方法説明会や体験会、個別相談などを行い、不安を解消してきたことが、満足度向上につながったものと考えている。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年7月1日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	要改善
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者満足度向上策を実施したか。利用しやすい施設に向けた改善策を実施し 屋内大型プールを生かしたイベント、その他イベント等を実施したか。	良 適
市民協働の推進	近隣イベント等への協力、他機関との連携による事業実施したか。 地域人財力の向上につながる策として、ボランティア活動の推進、リタイア人 財の雇用、ユニバーサルサービス研修の開放等などを実施したか。	適 適
経費の削減や歳入増加	利用者ニーズを踏まえた事業展開、有償付加サービスの利用促進を実施した	適
	利用者拡大に向けた積極的な情報発信、たま広報等の公共広告媒体の活用等の 経費節減を実施したか。	適
評価の説明	総合福祉センターにおいては、令和6年度からの制度変更に向け、利用者のご意見に真摯に対応いただいた。例えば、利用者への窓口でのご説明や施設予約システムの操作説明会の開催等、引き続き施設を利用 いただけるよう取り組んでいただいた。	
改善指摘事項	・総合福祉センターにおける経理事務については、令和5年度の監査において、収支計算書の数字の誤り や書類管理について指摘があったため、要改善とした。今後は適正な事務執行をお願いしたい。 ・令和3年度指定管理者更新時の選定委員会からの意見の一つに、「地域連携」があった。今後の利用者 増加に向け、地域人財の活用や地域との連携により一層取り組んでいただきたい。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。
※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを受け、施設の利用制限を適宜緩和し、また各種イベント等を再開
できた。そのため、施設の利用者や稼働率は徐々に回復している状況であるが、コロナ禍前の水準には至っていない状況である。
今後に向けては、引き続き利用者に寄り添った丁寧な対応をしていただくとともに、ニーズに応じたイベント実施や利用者の拡大に向けた取り組み
を行っていただくことを期待する。

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1.指定管理者について

施設名		永山駅・多摩センター駅東・多摩センター駅西・永山駅北・北諏訪小南各駐輪場		
指定管理者名		NCD株式会社		
施設所管課		都市整備部 道路交通課		
主な業務内容		駐輪場の管理運営業務		
指定期間		始期	終期	
		令和3年4月1日	令和8年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	歳入（使用料）	2,576	945	1,496
	歳出（指定管理料）	0	0	0

2.指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	67,600	62,300	70,001
		その他			
		収入計（a）	67,600	62,300	70,001
	支 出	人件費	30,254	31,500	32,097
		維持管理に係る経費	34,106	24,985	34,493
		事業実施に係る経費			
		その他			
		支出計（b）	64,360	56,485	66,590
決 算	収支（a-b）		3,240	5,815	3,411
	収 入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	62,450	65,377	65,481
		その他	0	0	
		収入計（c）	62,450	65,377	65,481
	支 出	人件費	31,321	31,092	31,391
		維持管理に係る経費	25,976	32,394	31,098
		事業実施に係る経費			
		その他			
		支出計（d）	57,297	63,486	62,489
	収支（c-d）		5,153	1,891	2,992

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自転車定期利用契約総数	6,191	5,831	6,376
自転車一時利用総回数	130,956	149,208	143,103
バイク定期利用者契約総数	1,795	1,709	1,680
バイク一時利用者総回数	98,524	100,734	97,903

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

市営駐輪場については、指定管理者が利用料金収入のみで管理運営をしている。 利用状況については、バイク定期利用者及び自転車・バイク一時利用者が減少したものの、自転車の定期利用契約総数は増加している状況である。 そこで自転車定期利用者が駐輪する際の利便性と安全性を向上するため、一部２段ラック上段の撤去を実施するとともに、自転車安全点検キャンペーンを実施して、駐輪場内外の交通事故防止の啓発活動を実施した。 また、多摩センター駅西駐輪場では、長期間に及ぶ外装等補修工事を行ったが、駐輪スペースが制限される中、事前の広報やスタッフ等の適切な誘導によって、利用者利便性と安全性に配慮した管理運営を実施した。
--

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
令和5年11月1日～令和5年11月30日にアンケート調査を実施。 調査方法は駐輪場内の管理人室前にアンケート用紙を設置・回収する方法とWEB上アンケートを併用して実施した。
(結果の概要)
回答数：199件 利用目的：通勤68.8%、その他31.2% 利用実態：定期利用92.5%、一時利用7.5% 管理人の対応・態度：満足50.8%、やや満足31.7%、その他17.6% 場内の清潔さ：満足54.8%、やや満足25.1%、その他20.1% 「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「管理人の対応」及び「場内の清潔さ」が減少傾向にあり、その要因は多摩センター駅西駐輪場における管理人の接遇対応等について低評価を受けているためである。 しかし、永山駅及び多摩センター駅東駐輪場は、「管理人の対応」や「場内の清潔さ」等で高評価を受けており、特に雑巾の貸出や管理人の声掛けによる犯罪予防については良好な対応として、利用者から多く意見が寄せられている。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年7月9日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	施設内の事故防止に向けて、掲示案内を見直し、案内表示の分かりやすさを向上させたか	適
	定期契約に関する専用窓口の導入を行ったか	適
市民協働の推進		
経費の削減や歳入増加	紙資源の減量に向けて、紙資料の電子化に取り組んだか	適
評価の説明	基本業務については、多摩センター駅西駐輪場の外装等補修工事が行われた際、利用可能スペースが制限される中、利用者の利便性及び安全性に配慮した誘導を実施することで、適切な運営を継続することができた。 また、利用者サービスの向上については、施設内において広報アナウンスを行って施設内の事故防止を図るとともに、定期契約者専用の窓口を開局して、利用者の待機時間を短縮させた。	
評価項目以外の改善取組	利用者のサービス向上のため、利用頻度の低い二段ラックの上段部を撤去（110台）して、二段ラックの下段部の利便性及び安全性を向上させた。	
改善指摘事項	特になし。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

事業計画書に基づく業務内容及び実施状況の適正な執行を確認した。 管理者による二段ラックの上段部を撤去や適切な誘導など、利用者の利便性及び安全性に配慮したサービスがなされており、自転車定期利用者を昨年より全体で500件以上増加させることができた。これは駐輪場事情を熟知する指定管理者ならではの取り組みであり、高く評価する。 今後も、民間企業ならではのノウハウを生かしながら、車両の多様化に対する対応を継続するとともに、利用状況に適した各車種別台数の見直しを実施し、利用者の利便性及び安全性の向上を期待する。
--

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1. 指定管理者について

施設名		多摩市立八ヶ岳少年自然の家			
指定管理者名		一般社団法人 富士見パノラマリゾート			
施設所管課		教育部教育振興課			
主な業務内容		多摩市立八ヶ岳少年自然の家における施設等の利用の許可及び維持管理並びに小・中学校の移動教室等の実施			
指定期間		始期	終期		
		平成30年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制		有り			
選定方法		公募			
市の決算額（千円）	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	
	歳入（使用料）	0	0	0	
	歳出（指定管理料）	66,200	73,903	68,172	

2. 指定管理者の施設運営状況

（１）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和３年度	令和４年度	令和５年度
予 算	収 入	指定管理料	66,200	66,200	79,487
		利用料金	6,820	8,038	8,255
		食事料	18,050	21,217	20,643
		その他	3,485	3,560	4,550
		収入計（a）	94,555	99,015	112,935
	支 出	人件費	41,425	45,475	45,475
		維持管理に係る経費	22,683	24,761	35,587
		事業実施に係る経費	23,377	26,092	29,643
		その他	7,070	2,687	2,230
		支出計（b）	94,555	99,015	112,935
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	66,200	73,903	68,172
		利用料金	4,312	7,229	7,752
		食事料	12,322	18,563	19,871
		その他	4,823	4,169	4,601
		収入計（c）	87,657	103,864	100,396
	支 出	人件費	43,107	48,187	44,746
		維持管理に係る経費	12,923	16,516	15,488
		事業実施に係る経費	24,854	31,755	33,134
		その他	7,062	8,185	6,919
		支出計（d）	87,946	104,643	100,287
	収支（c-d）		-289	-779	109

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（２）利用状況

		令和３年度	令和４年度	令和５年度
施設利用者数	団体数	271団体	397団体	325団体
	宿泊人数（延べ）	6,830人	9,967人	10,168人
	利用人数（延べ）	11,602人	16,888人	17,297人
貸部屋数（稼働率）		950（26%）	1,515（42%）	1,412（39%）
事業実施数		0回	0回	2回
事業参加者数		0人	0人	53人

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

維持管理の状況

1. 保守点検・修繕等について

法令に基づき施設の維持管理に必要な各種保守点検等を行ったほか、基本協定書及び指定管理基準のリスク分担に則った修繕工事を実施した。

2. 安全管理・環境保全について

安全管理・環境保全に関して以下のとおり対応した。

- ・敷地内の危険木や枝の撤去、草刈りによる足元の視界確保など随時整備を行い、野外での活動が常に安全に実施できるように努めた。
- ・また、雷雨や積雪などの気象情報をその都度取得して早めの情報提供と注意喚起に努めた。
- ・蜂捕獲機を設置し蜂刺さを予防した。
- ・移動教室の林業体験の際にヘルメットを貸し出し、安全対策を徹底した。
- ・春秋の側溝清掃点検と降雪時の速やかな道路除雪・解氷を実施した。
- ・多摩市が国と協定書を取り交わし、小学校6年生の林業体験で使用している国有林において環境整備上必要な間伐を行い環境保全に努めた。
- ・毎日時間を定め敷地内の見回りを実施。凍結・落雪・蜂の巣等危険個所の発見・除去に努めた。
- ・業務におけるヒヤリ・ハット経験によるリスクの共有化を継続的にを行い、リスク回避に努めた。
- ・台風被害等による倒木を順次処理し、野外活動に支障が出ないように安全対策を図った。
- ・外部検査機関に依頼し食品衛生管理を徹底することで、利用者に安心・安全な食事を提供できるよう努めた。
- ・施設各所に手指消毒用アルコールを、洗面所等にはハンドソープを設置し、手洗いの仕方のポスターを掲示して手指消毒の徹底を呼び掛けた。

3. 予算執行と経費等の管理について

予算執行と経費等は適正に管理されている。また、現金の入出金管理は、現金出納簿等を備え適正に管理されている。

■ 事業実施の状況

1. 指定事業について

市立小中学校の移動教室等は、夏期25校、冬期18校の計43校が施設を利用して宿泊した。

「森林教室」では、パネルやパワーポイント等の資料を用いて、森林を始めとした自然が人々の暮らしの支えとしてどのような役割を担っているのか、その保護保全のためにどのような貢献が出来るのか一人ひとりが考えるきっかけを提供した。

「林業体験」では、ノコギリでの伐倒体験を行い、知識だけではなく、実践を通して、林業と自然に関する理解を深める機会を提供した。

2. 主催事業について

主催事業については、「子どもサマーキャンプ」等について年5回実施を予定していたが、6月は新型コロナウイルスが5類に移行して間もなく募集が見込めなかったため開催を見送った。8月・1月のバスプランについては、応募人数が催行最少人数を下回り中止とした。

10月のバスプランについても催行最少人数を大幅に下回る結果となったが、少しでも施設とバスプランの魅力を市民の方々へ知っていただくため、少人数ながらも実施した。

3月のスキー・スノボ直行便は多数の応募があり、盛況の中多くの方にバスプランの魅力を提供できた。

■ 収支・利用状況

1. 収支・利用状況について

令和5年度決算額は、令和4年度決算額に対して収入(利用料金・食事料)が利用者数の回復に伴い増加した。

エネルギー価格の高騰が続いたものの、政府によるエネルギー価格激変緩和措置や施設職員による燃料使用の効率化に努めた結果、燃料費等の不足分を抑える事ができたことから、決算額は令和2年度以来3年ぶりに黒字となった。

令和5年度の利用実績は、延宿泊者数が10,168名で前年度と比べて201名増、最も利用者数が落ち込んだ令和2年度と比較すると約9,000名増加し、平成31年度(令和元年度)以来4年ぶりに延宿泊者数10,000名に届くまで回復した。

また、多摩市立小学校5・6年生、中学校1年生の全児童生徒が令和5年度に移動教室等で八ヶ岳少年自然の家を利用するとともに、帝京大学小学校3・4年生や近隣自治体の小学校の移動教室利用もあり、利用者数回復に向けた取り組みが着実に進んでいる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数) 時期：4月から翌年3月 方法：一般利用者に対し実施。アンケート用紙に記入する。 回答数：97件
(結果の概要) 「今後も利用し続けたい」が約98%を占め、設備、スタッフ対応などの満足度も高水準であることから、利用者に高く評価されている。 食事については「満足」が約75%となっており、令和4年度から2ポイント上昇した。一方で「味を少し薄くしてほしい」「子どもの食事の量が少し多かった」などの意見が寄せられていたことから、引き続き、子どもから大人まで幅広い年代の方にもおいしく食べていただけるような食事を提供し、地元農家の野菜や果物を使用した自然の家ならではのメニューを提供できるよう努めていただきたい。 その他の自由意見としては、「清潔で暖かい雰囲気が好きです」「とても快適に過ごせました」「おやきやきのこなど地元料理が美味しかった」などのほか、施設の清潔感、スタッフの対応についてお礼の言葉が多くあった。利用者からの指摘事項は全職員で共有し、迅速に対応することで利用者の満足度向上に結び付いていると考える。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年6月13日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者アンケートの実施方法を見直し、回答率の向上を図ったか。 【ご意見箱（ロビー）】	適
	安全管理アドバイザーによる講習を受講し、事故防止対策の強化を図ったか。【安全管理ハンドブック】	適
	食品衛生法等に基づき、以下のとおり、衛生管理の強化を図ったか。 ・食品衛生に関する講習等の実施による職員の意識の向上【講習資料】 ・外部機関による点検を実施したか【外部機関点検報告書】	適
	施設利用における感染症対策等の注意点を揭示し、施設各所の消毒を定期的に実施するなど、利用者の感染防止を図ったか。【設備等維持管理点検リスト】	適
	運動量の多いスポーツ団体の合宿利用等に向けた、ボリュームのある新メニュー（スポーツ食）を考案し提供したか。また、敷地内で栽培しているしいたけや山菜を使ったメニューを考案し提供したか。【事業報告書】	適
	運動量の多いスポーツ団体の合宿利用等に向けた、ボリュームのある新メニュー（スポーツ食）を考案し提供したか。また、敷地内で栽培しているしいたけや山菜を使ったメニューを考案し提供したか。	適
	多摩市立小・中学校の移動教室において新たな活動プログラムを提供したか。【星空観察キット】	適
市民協働の推進	多摩市民の森に関わるボランティア団体の活動について、南信管理署との調整や、道具の貸し出しなどの支援を行っているか。【活動実績報告書】	適
	市が主催するオッコー祭りや子どもサッカー教室など、友好都市である富士見町との交流事業について、富士見町役場との調整や、町内施設の予約調整などの支援を行っているか。【月次報告書】	適

経費の削減や歳入増加	定期的な点検等に基づき、必要に応じて修繕等の対応を行うことで設備の長寿命化を図り、更新や改修にかかる経費の削減に努めたか。【管理基準_【別紙1】 抜粋 令和5年度中に修繕が見込まれている設備リスト】	適
	ボイラーを手動操作でこまめに電源を落とすことや、デマンド計を活用し、館内の使用していない設備の電源をこまめに落とすなど、エネルギー使用量の削減に通年で努めたか。【デマンド計】	適
	灯油について、従前から継続して一括大口購入して、購入単価の削減を図ったか。【単価表・請求書】	適
	継続的に多摩市や富士見町近辺の学校やスポーツ団体などに営業活動を行い、利用者の増加を図ったか。【月次報告書】	適
	令和6年度の他市の学校受け入れに向けて、多摩市と連携し、準備を行ったか。【打ち合わせ作成資料】	適
評価の説明	・「協定書や管理基準等に基づく基本業務」は、評価項目全てにおいて適正に行われていることを確認した。 ・「利用者サービスの向上」は、感染症対策を図りながら、適正に行われていることを確認した。 ・「市民協働の推進」は、適正に行われていることを確認した。 ・「経費の削減や歳入増加」は、適正に行われていることを確認した。 また、下駄箱・脱衣棚の塗装や、布団乾燥など職員で対応可能な作業は専門業者に委託せずに職員が行うなど、支出を抑えるための工夫に日々取り組んでいることを確認した。 さらに、他市の学校受け入れに向けた説明会や実地踏査の受け入れに際し、多摩市と連携し積極的に取り組んでいる事を確認した。	
評価項目以外の改善取組	・利用者からの要望を受け、男女の浴室脱衣所にドライヤー専用コンセントを各3か所新設し、ドライヤーの貸出を行うことや、食堂利用時に希望される方が利用できるよう温かいスリッパを配置するなど、利用者サービスの向上・改善に積極的に取り組んでいることを確認した。 ・多摩市文化・生涯学習推進課からの依頼を受け、移動教室の林業体験で切り出した間伐材を使用したクリスマスオーナメントの作成に向け、間伐材の輪切りや研磨など、飾り付けしやすいよう加工を施し、予定した学校に提供したことを確認した。 ・夏季期間限定で新鮮な高原野菜の盛り合わせを団体ごとにサービス提供し、郷土色溢れる味覚の提供に努めた。 ・富士見パノラマリゾート内部で連携し宿泊者限定のゴンドラ割引券を発行し相互の利用者増加に努めた。 ・移動教室における多摩市民の森・フレンドツリー内で行う森林教室プログラムや、林業体験時にお弁当を食べる場所などで使用するベンチスペースを、令和6年度以降の移動教室に向けて自然の家に距離が近い位置に移設し、利便性の向上に努めた。 ・（公社）国土緑化推進機構による「緑の募金」の都道府県緑推推薦事業（子どもたちの未来の森づくり事業）に申請し、354,000円の給付を受け、森遊びや林業体験で使用する消耗品を購入することで移動教室における自然体験活動に向けて準備を行った。	
改善指摘事項	改善指摘事項無し	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和5年度は、令和9年度までの指定管理期間（10年間）の6年目であり、宿泊者（延べ）は10,168人と、コロナ禍前の宿泊者数の同程度まで回復した。これは、指定管理者が市教育委員会との調整を図りながら、豊富な経験や実績をもとに、良好な施設管理及び事業の運営に努め、利用者サービスの向上を実現するため、日々の努力や改善を図った結果であると評価できる。

市立小中学校の移動教室は、夏期に25校、冬期に18校と予定していた移動教室等を全て実施できたことは高く評価できる。

また、燃料光熱費の単価が上昇する中、デマンド計を活用し館内の使用していない設備の電源をこまめに落とすなど、エネルギー使用量の削減に努めている。さらに、灯油については、単価の安い時に一括購入するなど、経費削減の工夫や省エネルギー化による持続可能で地球にやさしい取り組みを行っていること等も評価できる。

施設・設備等の管理は、定期的に点検を行い、必要に応じた修繕等の対応により適切に維持管理されている。引き続き、令和9年度までの指定管理期間の中で施設の長寿命化を図るため計画的かつ効率的な施設維持管理に努めていただきたい。

今後も利用者の安全確保を最優先に取り組んでいただくとともに、引き続き他市の移動教室の受け入れを進めていただき、指定管理者として積極的に創意工夫を図り、利用者数及び収益を増やし、施設運営経費の節減に努め、八ヶ岳の良好な自然環境の中で、市民の自然体験の機会提供を安定的かつ積極的に進めていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和５年度）

1.指定管理者について

施設名	永山複合施設駐車場			
指定管理者名	新都市センター開発株式会社			
施設所管課	教育部 公民館			
主な業務内容	駐車場の管理運営			
指定期間	始期	終期		
	平成31年4月1日	令和6年3月31日		
利用料金制				
選定方法				
市の決算額（千円）	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	歳入（使用料）	8,547	8,910	8,408
	歳出（指定管理料）	8,848	8,848	8,848

2.指定管理者の施設運営状況

（１）収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予 算	収 入	指定管理料	8,848	8,848	8,848
		利用料金	-	-	-
		その他	0	0	0
		収入計（a）	8,848	8,848	8,848
	支 出	人件費	7,318	7,318	7,323
		維持管理に係る経費	0	0	0
		事業実施に係る経費	0	0	0
		保険料	50	50	39
		設備保守点検費	465	465	465
		消耗品費	382	382	387
		その他	633	633	634
		支出計（b）	8,848	8,848	8,848
	収支（a-b）		0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	8,848	8,848	8,848
		利用料金	-	-	-
		その他	0	0	0
		収入計（c）	8,848	8,848	8,848
	支 出	人件費	7,644	7,095	7,095
		維持管理に係る経費	0	0	0
		事業実施に係る経費	0	0	0
		保険料	39	39	39
		設備保守点検費	511	465	465
		消耗品費	388	26	387
		その他	0	598	634
		支出計（d）	8,582	8,223	8,620
	収支（c-d）		266	625	228

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

（２）利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用台数	63,083	67,387	70,935
有料台数	19,910	21,119	20,110

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

駐車場の開場・閉場、場内点検、駐車場管制システム・駐車券発行機・精算機の保守、使用料・駐車券の回収及び集計、使用料の入金、帳票類の記録・管理、場内監視、事故等の対応処理等の管理運営を行う。さらに、新型コロナウイルス感染症対策のため、発券機の定期的な消毒作業も行った。
また、場内の美観維持及び安全性の向上を目的として場内の白線ライン塗装及び柱コーナーガード塗装を実施した。そのことにより、視認性が高まり場内の安全確保に役立ったと思われる。
駐車場利用台数は70,935台であり、前年と比べ5.27%増加した。市の歳入となる使用料収入については、前年と比べ5.64%減の8,408千円となった。入庫台数については、4月から10月までの期間において、使用料収入については、4月、7月、8月、3月において前年を上回った。使用料収入が減少した要因として考えられることは、①令和4年度12月以降のペルプ永山への教育委員会の移転に伴った公用車の増加により一般利用の台数が制限されたこと②利用台数は増加しているが有料台数は4.78%減少していることから、教育委員会の移転に伴い無料認証件数が増えたこと③令和4年度はマイナポイント付与事業の駆け込み需要によりマイナンバーカードセンターの利用者が増加していたこと、の3つが考えられる。
次年度においては、新型コロナウイルス感染症の取扱いが大きく変わったことから、公共施設の利用者数及び各事業における来館者の増加が想定され、使用料収入の増加を見込んでいる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
時期：令和5年11月18日(土)19日(日)20日(月)の3日間(各50枚、計150枚配布)
方法：駐車場係員が利用者に手渡しでアンケート用紙を配布。
(結果の概要)
配布枚数150枚 回答枚数124枚
①利用者年代 10代1件、20代4件、30代7件、40代27件、50代25件、60代32件、70代18件、80代9件、90代以上0件、無回答2件(複数回答有)
②利用施設 公民館34件、図書館70件、消費生活センター0件、マイナンバーカードセンター0件、喫茶れすど17件、郵便局8件、ワークプラザ0件、その他23件、無回答3件(複数回答有)
③利便性 満足75件、普通36件、不満9件、その他・無記入4件
④係員の対応 満足77件、普通37件、不満1件、その他・無記入9件
⑤駐車時間 30分未満23件、30分以上1時間未満56件、1時間以上2時間未満26件、2時間以上16件、無記入3件、その他0件
⑥利用頻度 ほとんど毎日8件、週1回程度34件、週2～3回程度20件、月1～2回程度51件、初めて利用7件、その他4件
⑦駐車場案内 分かりやすい49件、普通71件、分かりにくい1件、無記入3件
③利便性、④係員の対応、⑦駐車場案内の結果から、利用者は概ね満足を得ていると評価する。令和2年度にアンケート項目の見直しを行い(①利用者年代の項目を追加。②利用施設をより細かく設定。⑤駐車時間の選択肢をより細かく設定)、利用状況をより把握しやすくなった。アンケートで寄せられた「全体的に暗い感じがする」という声については、照度不足の籃球交換、器具清掃で対応した。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和6年6月26日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	混雑時は出入口にて待機し、発券及び精算の補助等混雑緩和の対策を実施しているか(従前からの継続取組)	適
	満車による交通渋滞発生時には、待ち車両に対し『グリナード永山第一駐車場』へ振替駐車を行うとともに、料金や減免等をペルプ永山駐車場と同じ取扱いにしたか(従前からの継続取組)	適
	通常清掃では取り切れない場内の油分等の汚れについて、機材を用いた清掃を実施したか(清掃箇所及び方法等は、場内の状態により毎年検討する)	適
	障がい者車両が入庫する際の専用駐車スペースへの誘導や、巡回・モニター監視により必要に応じて補助等の適切な対応を行ったか(従前からの継続取組)	適
市民協働の推進		
経費の削減や歳入増加	消耗品の調達にあたって、一括購入による購入費削減等を検討し、実施したか(従前からの継続取組)	良
評価の説明	個人情報や現金の管理については、従来通り決められたルールのもと適正に管理されている。満車の状況が発生した際にもグリナード永山第一駐車場への振替駐車を行うことで、交通渋滞の発生を緩和した。機材を用いた特別清掃に加えて、白線ライン清掃及び柱コーナーガード再塗装を実施したことにより、安全性が向上した。消耗品の調達について、ロール紙及び駐車券の一括購入を行うことで、通常購入額より77千円削減することができたため「良」と評価する。	
評価項目以外の改善取組		
改善指摘事項	特になし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和5年度駐車場管理については多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者の管理に関する年度協定書及び多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者指定基準に基づき、令和5年度事業計画にある業務について適正に遂行されたものと評価する。 指定管理者は、多摩ニュータウン内の商業施設に係る駐車場の管理運営も行っている。そのスケールメリットを生かし、満車時には近隣自社管理駐車場を案内するなど、駐車場の利用者が安心して利用できるよう管理運営を行っている。認証機や精算機のトラブル時にも、蓄積された知識やノウハウを生かし、迅速に対応した。特に夏季においては、安全確認のための定期巡回を強化し、車内に取り残される子どもがいないか等の事故防止に積極的に取り組んでいる。引き続き、さらなるサービスの向上を図り、利用者が安全に利用できるよう努めていただきたい。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、公民館等公共施設及び駐車場利用者が増加した。新規利用者に今後も継続して利用していただくため、場内美化に取り組みながら、アンケート等で伺える利用者の声を参考に改善を重ねていただきたい。また、満車となる日が増えることも想定されるため、場内の確認及び出入口付近での入場待ちの車列の確認を行い、適宜、振替駐車の実施等、対応をお願いしたい。 次年度の取組課題として、出入口ゼブラゾーンの塗装や誘引換気ファンの清掃を検討している。駐車場の利用状況を見ながら実施をお願いしたい。また、今後は紙幣の変更に伴う部品交換等の発生や、キャッシュレス決済の導入に向けた機材更新の検討が見込まれるので、動向について注視していただきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和３年 12月 14日	① 利用者利便性の向上 ホールを継続的に利用してくださるお客様に対しては過去履歴を活用しながら、舞台打合せを行うことで時間や内容の短縮化を図るなど、昨年度運用した経験を活かして対応した。 遠方や都合で直接来館できない方向けに、昨年度のオンラインでの利用者登録制度に加え、令和５年度は新たに施設のオンライン内覧会を実施した。 来館される方々に対しては、特に初めて来館される方々に分かりやすいよう、ホームページや公演チラシのアクセスに所要時間などの情報も含めて掲載し、来館しやすい館であることイメージの定着に努め	① 利用者利便性の向上 事前打ち合わせがスムーズとなり、催事内容によっては利用者が来館することなく電話による打ち合わせで済ませることができるようになるなど、利用者の負担軽減につながった。 令和５年度に行ったオンライン内覧会は計９名（団体）の参加があり、そのうちの１件は実際の予約に繋がるなどの成果があった。 アクセス表記を丁寧にすることで、来館者から交通に関する問い合わせも少ないため、今後も来館しやすいイメージの定着を図っていく。 飲酒・飲食を伴う利用は問い合わせが増えており今後もそういった利用の増加を見込んでいる。 お客様の声に合わせた設備・備品等の更新については。要望に応えてもらえる館としてリピーター利	① 利用者利便性の向上 オンライン内覧会については、参加者が９名にとどまったが、参加された方からは「事務所が都内にあるため、遠隔で部屋の様子を見られてよかった」といった声をいただいた。５年度については、初年度のため内覧対象の施設を限定して行ったが、今後も会議室のほか、練習室等も対象に拡大し、開催を検討し、より多くの方のニーズに合わせた利用に繋げていく。 飲酒・飲食を伴うご利用の要望は増えているものの、指定管理者としてご案内・照会できる事業者とのネットワークを持っていないことが課題と考えており、そのネットワークづくりが今後必要となると考えている。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	た。また、令和4年度に引き続きホールや諸室を初めてご利用される方が館内の見学を希望された場合は柔軟に日時調整に努め、当日の利用・進行がスムーズになるように説明・案内をした。 施設運用の面では、会議室 1・3・4、クリエイティブラボ 1・2 で飲酒を含めた飲食利用を可能としたほか、ロビーでの飲食を可能とした。 また、施設を利用いただいた方々のアンケート等からいただいた声を反映し、意見・要望のあった備品・消耗品の購入や、サイン標示の改善、大小ホールの資料（図面・3D 図面・写真など）を作成し、提供できるようにするなど、より使いやすい施設となるよう努めた。	用に繋がっていると考えており、実際に利用者様からの声として、他館より使いやすいという声も聞こえている。施設を利用されたお客様に対してのアンケートにおいても、「スタッフ対応の満足度」は 5 段階中、「とても満足・満足」と答えた方が 63.2%、「普通」と回答した方が 36.8%となり、「とても不満・不満」と回答した人は 0 人でした。そして、継続した利用に関しては、82%の方が継続した利用を希望している結果となっている。	お客様アンケートについては、利用件数に対して回答数が少なく、十分なサンプル数を得られていない。リピーターとなっているお客様にアンケートについて聞き取りを行ったところ、リピーターについては、回答いただいていることが分かり、逆に継続して利用いただいていないお客様が回答していないことが分かってきた。今後、そのようなお客様に対してはヒアリングを行うなど、声を聞く手法を改善し、より多くのお客様の声を拾っていく必要があると考えている。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	② 貸館利用促進の取り組み 共同事業体構成企業としてのネットワークはもちろん、各職員が持つネットワークを活用し、アプローチを行っている。特にプロモーターをはじめとする利用規模が大きくなる貸館先に対して、重点的に営業を行い、貸館収入の確保を また、地域の企業への施設誘致営業も行っている。 そのほかにも①で記載したオンライン内覧会なども貸館促進の取り組みの一つとして実施しているものである。	② 貸館利用促進の取り組み プロモーターへの誘致営業の結果、大ホールやリハーサル室、練習室などの諸室を計7日間連続利用（うち本番3日）という形で利用いただくことができた。 また、地域の企業についても令和7年度以降の利用について、従来他館で行っていた催しをパルテノン多摩で実施いただくことについて検討いただいているものがあり、利用に繋がる可能性がある。 また、主催公演に伴う形で、出演女優のファンクラブミーティングの場としてオープンスタジオや会議室を活用していただくなど、実際の利用につながった。 令和5年度の利用料金収入決算額は1億3400千円余りとなり、指定管理者としての収入確保につなげることができた。令和4年度の利用状況と比較すると、アニメや声優のライブやファンイベントといった利用が増えてきており、今後、アニメや声優業界に特化したプロモーターへ営業することが利用促進に繋がると考える。	② 貸館利用促進の取り組み 令和6年度の利用料収入目標は令和5年度と同じ金額としたが、令和8年度の目標金額は147,500,000円としている。大ホールや小ホール、オープンスタジオの利用の利用促進として、以下の取組を実施する。 ・特に利用が多い、優良顧客への営業 ・プロモーター営業にあたっては有望な営業先を選択した上での集中的な営業 ・小ホールの稼働を高めるため市内や近隣地域で活動する劇団へDM営業 ・市内及び近隣地域への商工会議所や青年会議所へ直接訪問し、ケータリング可能な事業者へ営業 ・市外近隣地域で活動する団体へDM営業 ・オープンスタジオや市民ギャラリー、クラブトラボやキッチンラボにおいて、利用のイメージが付きやすいよう、実際の利用シーンが掲載された案内を作成し、営業に活用する。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	＜新たな取り組みまたは、特色ある取り組み等＞ ③ オープンスタジオ・クラフトラボ等諸室の一般開放 オープンスタジオ、クラフトラボといった他施設に比べて稼働が低い施設の空き時間を活用して一般開放を実施した。オープンスタジオは計6回実施し、バレエやダンスの練習の場、市内中学生を対象にした学習の場として一般開放した。クラフトラボは1回実施し、創作活動の場として開放した。	＜新たな取り組みまたは、特色ある取り組み等＞ ③ オープンスタジオ・クラフトラボ等諸室の一般開放 一般開放は計7回実施し、図書館からの人流を期待し、図書館の休館日に設定し、図書館に代わる学習場所を提供するなどの工夫を行ったものの、参加人数は2名という結果となった。中央図書館とも連携しチラシ配布や標示を行っていたほか、市内中学校への全校へお知らせを配布も実施するなど参加者は伸びなかった。	＜新たな取り組みまたは、特色ある取り組み等＞ ③ オープンスタジオ・クラフトラボ等諸室の一般開放 令和5年度利用者が伸びなかった反省として、場を提供するだけでなく、賑やかしや交流ができるといった、足を運ぶ仕組みやきっかけを作っていけなかったことも原因であると考えている。そのため、令和6年度の実施にあたっては、指定管理者が一丸となり、学習場所以外の用途としてオープンスタジオの開放について検討している。 具体的には、オープンスタジオに空きがある日程を活用し、地域の学生による発表会や地域の映像放映、著名なデザイナーによる販売会、地域で活動する団体の物産展等を検討する。 クラフトラボやキッチンラボにおいては、後の利用者を育てるため、地域で活動する団体や個人に子ども向けのワークショップの開催を依頼します。ワークショップの参加者として、施設に足を運び、利用していただく機会を創出し、後の利用につなげる。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	④ ミュージアムにおける「市民学芸員」等との協働 リニューアルした博物館において市民が主体的に活動し、地域資源をつなげていく「地域まるごと博物館」の実現のため、当館学芸員と市民学芸員が協働で様々な事業に取り組んでいる。市民学芸員の養成も行い、新たな人材の確保にも努めている。 当館学芸員が被災資料（水損文書）のクリーニング研修を主催し、市民学芸員や市教育委員会の文化財担当者も参加した。	④ ミュージアムにおける「市民学芸員」等との協働 市民学芸員を含む有志による調査の結果をもとに企画展「多摩ニュータウンノ色」を開催した。その他、市民学芸員が主体となって街角アートツアーや施設4階の回廊にて展示を行った。あわせて冊子の刊行やオリジナルトレーディングカードの発行を行うことで、研究成果を発信した。 - 市民学芸員定例会 11回開催 延べ258人参加 - 第3期市民学芸員養成講座 全6回開催 9人修了	④ ミュージアムにおける「市民学芸員」等との協働 これまで「街角アート」「橋」「色彩調査」「絵図調査」「科学」など様々な観点から企画実施し、ミュージアムの多様性に貢献してもらっている。市民学芸員の任期を原則3年間としているため、令和6年度末をもって、第1期生の卒業があるため、今後の制度の在り方について検討を要する。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	⑤ パルテノン多摩 NEWS の定期発行の開始と内容の充実 パルテノン多摩 NEWS については、再開館以降は、事業券売収入確保のために、主催公演の告知記事を中心に不定期発行としていた。令和6年3月発行号からは定期発行とし、主催事業・共催事業の記事に加え、提携事業や貸館事業、市民活動団体公募支援事業に関する情報など、パルテノン多摩の大ホール・小ホールで実施する催事の情報を記載し、充実を図った。	⑤ パルテノン多摩 NEWS の定期発行の開始と内容の充実 パルテノン多摩 NEWS は年間4回発行し、多摩市全戸及び近接地域にポスティングした。3月号からは前年度同様の4ページに戻し、主催事業に加えて、共催事業、提携事業、公募支援事業、貸館事業、博物館に関する情報までひき続き幅広く掲載した。令和6年度からは年4回の定期的な発行とする。	⑤ パルテノン多摩 NEWS の定期発行の開始と内容の充実 これまで以上に施設や事業の認知度向上を図り、施設利用者や来館者の増加、集客増につながるよう取り組んだ。今後も定期発行の中で、パルテノン多摩で行われる事業について、周知を図り、集客増につなげていき、地域を盛り上げていく必要がある。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	⑥ 近隣公共施設等との連携・地域活性化 当施設が所有する自動演奏楽器2台を令和5年7月に新規に開館した多摩市立中央図書館に移設した。市教育委員会（文化財担当、図書館地域資料担当）とも日頃から情報共有、資料共有している。 また、多摩センターの活性化にあたっては、多摩センター地区連絡協議会の一員として、「多摩センター子どもまつり」「多摩センター夏祭り」「ハロウィン in 多摩センター」「多摩センターイルミネーション2023」をはじめとする、季節の催しに協力を行った。 また、そのほかにも多摩中央公園周辺の公共施設等の連携を目的とした「多摩センター・多摩中央公園連携協議会」の一員として参画した。 そのほかにもパルテノン大通りを使用する地域活性化イベントの協力として、多摩ファミリーフェスタ TamaTamaFestivalへ後援名義使用の許可及び大階段前のパルテノン多摩敷地の使用許可を出し、電源等設備の利用を許可するなど、地域を盛り上げるイベントへの協力を行った。	⑥ 近隣公共施設等との連携・地域活性化 自動演奏楽器活用事業のなかで、中央図書館との連携コンサートを4回行い、延べ266人の観客があった。 また、中央図書館開館記念展示として図書館地域資料担当と連携して「描かれた多摩～絵図から見た江戸時代の多摩～」を行った。当館4F回廊においても、ふるさと資料館と連携展示を行った。 多摩センター地区連絡協議会の季節の催しについては、例年多くの来街者が参加しており、 また、「多摩センター・多摩中央公園連携協議会」が実施したイベントにも協力し、自動演奏楽器の演奏や備品の貸出など連携した。 そのほか、協力した地域活性化イベントの来場者数については、令和5年度多摩ファミリーフェスタの来場者数：約5000人、令和5年度のTamaTamaFestival イベント参加者数」約4万人と報告を受けており、多摩センター地域の活性化につながったと考えている。	⑥ 近隣公共施設等との連携・地域活性化 連携事業を行うことは、パルテノン多摩の認知度向上や来場者の増、事業の理解にもつながる側面があるため、引き続き機会を捉えて実施していく。 一方で、地域活性化事業については、他への協力のみならず、パルテノン多摩が主として大階段や多摩センターエリアを活用した事業を実施していく必要性は認識しており、限られた予算・人員等の中で可能な限りで検討・実施していく必要があると課題認識している。 今後、多摩中央公園の改修が完了した際にはオープニングイベントや事業に積極的に関わっていく必要がある。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パートナー多摩共同事業体	令和3年12月14日	⑦ 新たな市民活動支援制度の構築・実施 市民の文化芸術活動の支援及び文化芸術活動を担う人材の育成に関する事業の一環として、令和5年度から新たに公募による市民団体等活動支援事業を開始した。	⑦ 新たな市民活動支援制度の構築・実施 令和3年度の10月から11月に公募し、応募のあった団体を公募要項に基づき審査・協議し、承認した10団体によって各事業が行われた。	⑦ 新たな市民活動支援制度の構築・実施 多摩市内を活動拠点とする市民団体等が主体的に実施する文化芸術に関する公演、展示等の事業に対し支援を行うことができた。継続的に行い、事業の定着を図る。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館	多摩コミュニティパートナーズ	令和3年7月1日	開館して2年目となった令和5年度は、利用者数及び利用率を向上させるため、個人で参加できる自主事業を充実させて、地域の方にそのような事業を知っていたくことに注力しました。門に案内チラシを配架することで、近隣を散歩されている方にも足を運んでいただけるよう工夫しました。特に、近隣は団地が多く、楽器を家で使用することが出来ないという方が多く、個人で音楽活動室を利用できる個人開放は大変需要がありました。 また緊急時に誰でも迅速に適切な対応が取れるよう、消防訓練や緊急対応訓練、事故対応訓練を実施し、日頃から準備を行っています。多摩消防署への優マーク（優良防火対象物認定）の申請に伴い、屋内消火栓等を使った訓練や設備の厳正な審査を通過し、消防署から認定をいただいています。多摩市で7番目の認定となりました。	年間利用者数の目標122,000名に対して、実績は127,320名と大幅に達成することができ、前年と比べて、8,456名増となりました。利用率は前年47.2%に対して実績51.1%と3.9ポイント上昇しました。 また利用者からの要望に対して、内容を精査した上で迅速に対応することが利用者サービスの向上につながると考えております。お声をいただいた際はすぐに現地を確認し、簡易修繕または業者を手配して安全で快適に利用できる環境を整備しました。細かい内容の積み重ねにより、利用者からの信頼をいただけていると自負しています。利用者アンケートでの「職員の印象について」の項目において、「満足」「やや満足」と回答された方が98%以上という大変高い満足度を得ることができ、昨年度より3ポイント上昇しています。	前年度課題となっていた隙間の空き時間については、自主事業の個人開放により利用率を向上させることができました。夜間の利用率については引き続きの課題となっています。 事業運営については、安心安全に利用できる環境の整備に力を入れており、不当要求防止責任者の選任や自衛消防技術認定者の常駐、熱中症対策、優マークの認定に取り組んでまいりました。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
関戸・一ノ宮コミュニティセンター	関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	各事業の通常開催 つむぎ館まつり、こどもまつり	・4年ぶりに「つむぎ館まつり」を開催。館内での作品展示、九頭龍公園での模擬店など。延べ1,600名来場 ・「こどもまつり」昨年に引き続き一ノ宮児童館と共催。360名来場	・ほぼコロナ前の体制で事業が開催できた。 運営委員の高齢化に伴い、特に全館事業はより外部からの協力を得るよう努めた。児童館、公民館、包括など。今年度は大学との連携も推進したい。 ・運営委員は入会もあったものの、高齢による退会もあり。より若手の入会促進が必要。
コミュニティセンター 桜ヶ丘	コミュニティセンター 桜ヶ丘 運営協議会	令和5年4月1日	○ゆう桜ヶ丘最大の事業でもある「夏まつり」を連合会と共催で4年ぶりに開催することが出来た。 ○協議会による手作り料理の提供は、新型コロナの感染を防ぐ意味から中止をしていたが、今年は新年会、クリスマス、国際交流において提供を再開できた。 ○これまではポスターやチラシの掲示には消極的であったが、情報提供の場であるべきとの考えから、掲示板を増やし、掲示方法を改善した。	○4年ぶりということもあり、これまでにないほど多くの地域住民が集まり、各種の交流の場を持つことができたことと共に、新しい世代が増えつつあることを再認識できた。 ○新年会やクリスマスでは恒例の手料理を望む声が多く、再開したことに対する評価は高い。 国際交流「モンゴル国を知る」においては大使館紹介の指導者の下、本格モンゴル料理を提供でき、大使館の方々にも好評であった。 ○掲示物が閲覧しやすくなったことに加え、掲示面積を増やしたことで、受け入れも増やすことが出来た。感想を言って下さる利用者も多く、好評いただいている。	○昨年まで中止していた夏まつりを再開したことで、ゆう桜ヶ丘としての企画事業がフルスケールで実施できた年であったといえる。 ○飲食の提供を再開したことで、より事業を充実させることが出来、活動に対しても、さらに興味を持ってもらえる機会を提供できた。 ➤ 今後の事業運営における課題 ・事業ごとに参加者が固定化しつつあることから、運営協議会の新しい担い手、特に若手の発掘が必要である。 ・ゆう桜ヶ丘の数々の事業の特色を最大限に生かせる施設になるよう、大規模改修にむけての提案や準備を丁寧に行い、改修を円滑に進めるとともに、改修後の事業をスムーズに再開できるよう、記録や物品の整理を早急に始める必要がある。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 乞田・貝取	コミュニティセンター 乞田・貝取 運営協議会	令和5年4月1日	○運営委員の高齢化を考え身体的負担の軽減を図るために一部の事業においては規模を縮小して実施。また事業の質の維持のために運協委員だけを参加対象とした事業も行い、事業の段取りやノウハウの維持に努めた。 ○昨年度からスタートした「ものづくり体験教室」では新企画案で開催。夏休みの子供たちに魅力ある体験をしてもらうべく工夫を凝らして実施。 ○コロナ禍後も貸室使用後の消毒や館内飲食の制限など衛生管理に十分配慮し、安全、安心の貸室業務に務めた。	○「ものづくり体験教室」は夏休み中の子供達には評判も良く継続的な実施により、コロナ禍前の夏休みキャンプに置き代わる事業の期待が寄せられている。 ○高齢者を対象とした軽体操や健康問題を取り上げた講演会の定期的開催は良きコミュニケーションの場として参加者から高い評価を得ている。 ○館の利用者数は約14,500人と昨年度より10%以上の利用者増があり、安心して利用してもらっている。	○計画された事業はほぼ予定通り実施されたものの、運営委員の高齢化による身体的負担増や事業参加者が限られるなど課題が顕著化。 ○委員の負担を軽減、かつもっと楽しみながら事業推進ができるように事業執行部の統合や開催方法の見直しを模索。新規事業への取り組みも含めて、楽しく参加しやすい環境づくりの構築を図っている。 ○将来的に、もっと多くの住民や団体が利用しやすい貸室環境や高齢者や子供たちが安心して集い、憩える場の提供が期待されている。地域拠点としての機能の充実と気軽に足を運べる環境作りへの期待を来たる大規模改修のタイミングで具現化できることを願っている。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 鶴牧・落合・南野	コミュニティセンター 鶴牧・落合・南野 運営協議会	令和5年4月1日	① デジタル化によって、高齢者の携帯電話相談実施の要望が寄せられるようになりました。 高齢支援課ではすでに他館で行っていると知り 早速、連携をして当館でも「スマホ相談会」事業を実施することができました。1年で約100人の参加がありました。 今後も継続する予定です。 ② 広報紙発行事業では、印刷・紙代の値上げが続く状況を受けて、配布エリア、紙の質等の見直しを行いました。	・「スマホ相談会」は大変好評です。これにより初めてトムハウスを訪れるという方が多くいらっしゃるのに驚きます。 ・事業参加の有料化についてはご理解を得られ、問題なく実施できました。	・改修後の施設の感想では、明るく広々して来館すると、とても心地よいとの声が多いです。 しかしながら、サークル活動の活気は以前より感じられません。 さまざまな理由で、高齢化、社会の変化、若い世代は忙しく余裕がないなど。 ・運営協議会の高齢化も悩ましいことですが、改修工事を終えた第2のステージに立っているトムハウスにできることを粛々と遂行していくことで、見えるものがあると考えています。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
鶴牧・落合・南野 コミュニティセンター	鶴牧・落合・南野 コミュニティセンター 運営協議会	令和5年4月1日	発行部数の大幅な削減（1500部）により支出を抑えました。併せて用紙の質を下げることによって重量も軽くなり、配布人の負担も軽減されました。 ③ カラオケ事業では、機器レンタルの変更に より年間の支出（ランニングコスト）が増えました。 ④ 全体の事業運営を圧迫する状況となったため検討を行いました。30年間無料で実施した「福祉カラオケ」は参加費の導入を決定しました。（1人200円） 同じくパソコン活用事業「パソコンサロン」「パソコン相談会」においても、PCメンテナンス、インク代など費用バランスも検討し、有料としました。（1人100円）		
貝取 コミュニティセンター	貝取 コミュニティセンター 運営協議会	令和5年4月1日	〇コロナが5類になったこともあり、2020年前に活動も戻り、制限のない状態でいろいろな活動に取り組むことが出来ました。「近くで楽しめる企画」として各イベントともたくさんの来館者がありました。 1.文化祭（7団体、10個人の作品）、納涼の日、こぶし館まつりは途絶えることなく続けることが	〇貸室利用率は、和室など時間帯によってはほぼ100%となり、よく使われている。調理も活動を再開するグループが増え、各イベントのアンケートなどからも、高評価を得ている。フリースペースは小学生からお年寄りまで、来館して過ごす時間が長く、プレイルームを利用する親子連れが増えている。「授乳室はありますか？」の問い合わせもあり、思案中。	〇運営委員の高齢化、減少はなかなか解消する兆しはないが、各イベントへの参加者からこうした活動に興味を持ち、協力委員から運営委員に加入する方が出てきている。ボランティアの方だけでイベント開催を続けるのはなかなか難しく、事務局スタッフがバックアップしていく方向を無理なくできればと思う。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 貝取	コミュニティセンター 貝取 運営協議会	令和5年4月1日	出来、今年は文化祭、こぶし館まつりで青陵中の和太鼓演奏があり、地域交流の場となった。 2.ロビーにおけるコンサートもミニロビー、冬のロビーコンサートなど多くの方が来館した。 3.自主財源確保として企画しているピロティでのパン販売、館内でお菓子販売、喫茶コーナーのドリップコーヒーも地域に浸透し、売り上げも増え、喜ばれている。		
コミュニティセンター 聖ヶ丘	コミュニティセンター 聖ヶ丘 運営協議会	令和5年4月1日	○貸室の人数制限、マスク着用や利用する際の消毒などの運用について、ポスター・看板等による周知のほか、ひじり館の広報紙やホームページなどで丁寧な周知を行った。 ○入館時のマスク着用、手指消毒を継続した。 ○利用者が備品類の消毒を行えるよう、引き続き消毒液、キッチンペーパーの消毒セットと、ゴミを持ち帰るためのビニール袋を用意した。	昨年度同様に運協役員を筆頭に利用者、スタッフが一緒に、新型コロナ感染対策を緩みなく継続したことにより、新規感染の発生を予防できた。 5月にコロナが2類から5類に引き下げられたことによりパーティション等を無くした、一部の貸室は定員を元に戻した。但し、窓開け・消毒・飲食制限は感染症対策として残した。 5月以降は感染対策を行いつつ、こども夏まつり、ひじり館まつり等、各部会の事業も規模を縮小し実施した。 ここ数年実施できなかった事業を実施する事によっ	コロナが2類から5類に引き下げられたことにより、今年度の総会はホールで実施した。計画した事業も一部の事業を除き、昨年度よりも実施することができた。 今年度も引き続き、公共施設として利用者の安全を第一に考え、現在行っているコロナ感染症対策の一部は継続していく必要があると考える。また、継続をする事で利用者が安心して「ひじり館」を利用できる。 各部会の事業も内容、参加人数を臨機応変

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
コミュニティセンター 聖ヶ丘	コミュニティセンター 運営協議会 聖ヶ丘	令和5年4月1日	○共用部の椅子・テーブル等についても使用後の消毒を引き続き実施した。 ○貸室を利用する際には、事前に窓・ドアを開けておき、利用中にも換気に努めるよう、引き続き、利用者をお願いした。 ○昨年度に引き続き、全貸室にサーキュレーター設置、二酸化炭素濃度測定器を B2 ホール・和室・会議室2・3に設置。	て、地域の人たちの足が「ひじり館」に向くようになり、子どもたちの笑顔も戻ってきた。	に対応し継続をする事が必要と考える。
コミュニティセンター 愛宕	コミュニティセンター 運営協議会 愛宕	令和5年4月1日	○幼児コーナーを手作りゲームや工作ができ、楽しく遊べる子供に魅力あるコーナーにリニューアルした。 ○前年に引き続き中央大学ボランティアセンターと共催で「クイズラリー」を開催した。 ○コンサート事業は地域の方の要望が高かった「サマージョイントコンサート」「小町雪乃歌謡コンサート」と「JAZZ&ワインコンサート」を開催。 ○「かえで館まつり」(10/8、9)を開催。ホールでの演技・演奏、会議室での作品展示で多く	○その結果、親子連れ来館者の増加が見られ、今後も地域活性化に結び付けられる見込み。 ○夏休みの「クイズラリー」には、地域の子どもたちや親子連れをターゲットにし、総勢 90 名を超える参加があり、大盛況であった。 ○すべてを定員制としたが、「サマージョイントコンサート」では観客が 79 名と増えて大盛況であった。 ○ホールでの演技・演奏は 12 団体、会議室での作品展示 9 団体、館内出店 4 団体、中庭出店 3 団体が参加。 ○障害のある方や高齢者も子どもも参加してもらい、ホールで車椅子ダンスや講演会、ポッチャとシッティングバレーボール、会議室で創作ゲームを実施。	○工作に使う道具（ハサミなど）の管理を徹底し、保護者同伴時のみ受付で貸し出しをしている。事故防止の観点から必ず保護者同伴で遊ぶよう注意喚起ポスターを掲示した。 ○運営委員の高齢化に対応するため、若い力を借りようと企画したが、中大生の柔軟なアイデアが親子連れを集客できた。今後の運営の方向性の大きなヒントになった。 ○各コンサートとも既に多くのファンに支えられており、継続開催で、「かえで館ファン」を増大していきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
			の団体が参加。中庭の屋台も大好評であった。 ○今回初めて、中央大学ボランティアセンターと共催で「パラスポーツフェスタ」を開催した。		○多摩テレビの取材を受け、後日放映された。 地域に多くの話題を提供することができた。 ○中大生とのコラボで若い力を借りて、今までにない新しいイベントの形ができてつつある。高齢者だけでなく、障がいのある方や子ども、親子連れの積極的な参加を増やしていきたい。
コミュニティセンター 唐木田	コミュニティセンター 唐木田 運営協議会	令和5年4月1日	○ほぼすべての事業（コンサートやキッズランチなど）でコロナ禍以前の規模で活動再開することができ、地域連携・世代間交流も深めることが出来た。 ・囲碁・将棋の会では新たに将棋指導員を招いた、「将棋 DAY」を開始した。 ・日曜朝市では野菜だけでなく、地元ベーカリーの協力のもとパンの出品を開始した。 ○利用率の増加や利用者アンケートの結果に満足することなく、より親切・丁寧な対応でこれまで以上に快適に利用して頂けるよう努めた。また、前年度の利用者懇談会においても要望の多かった貸室のコマ割りについて、アンケートを実施。また、予約システムでの予約状況開示の開始時期を早めるなど、利用者の利便性の向上に努めた。	○地域連携として、これまでの事業でも児童館や近隣幼稚園、小中学校と交流・連携を行ってきたが、新たに開始した「将棋 DAY」では初心者の子供と大人が対局するなど 3 世代交流もみられ、大松台小学校とはグリーンボランティアへの協力や、3 年生の自由研究発表会を菖蒲館で開催することで地域交流の一役を担うなどさらに連携を深めている。また、地域の歴史への理解を深めるイベントをからきだの道の会と開催することができた。 ○菖蒲館まつりでは過去最多数の参加団体となり2日間の開催となった。キッチンカーの導入は好評であったことはもちろん、模擬店出店の負担を減らすことができた。 コロナ禍の影響はもちろん、野菜の生産者の減少に伴う出品数の減少から、販売額が最盛期に比べ低調だったが、新しい取り組みにより猛暑や降雪の影響がありつつも回復の兆しがみられた。	○事業活動の担い手である運営委員は 7 名の増加と少しずつ、世代交代へ向けて前進しつつあるが、多くの構成員はほぼ固定化され、年々高齢化が進み委員の負担が大きい状況に変わりはない。世代交代へ向けて全世代が活動できる仕組みを検討する必要がある。 ○事業については、初心にかえりこれまでの事業を充実させるとともにこれから菖蒲館について皆で何ができるか、何をすべきかを考え、皆の意見を大切にすることで活動意欲を引き出し、さらにその様子を見た地域の方がより参加したいと思う雰囲気づくりをしていきたい。 ○働き手の人材不足や受付業務の多様化・複雑化により、事務局スタッフの人材確保にも苦慮している。今後も複雑化する業務、運営委員の活動のサポートへ適切に対応するため事務局スタッフの雇用・育成が重要な課題である。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
				○利用率も微増を続け、回復が困難だと思われていた団体登録数もコロナ禍以前の水準に回復した。	
コミュニティセンター 和田・東寺方	コミュニティセンター 和田・東寺方 運営協議会	令和5年4月1日	1. 新たな取り組みと改善点 ・新たな取り組みとしては、最近利用が多い和太鼓の演奏会を実施 また、運協委員とスタッフの合同研修会を実施 ・改善点として、役員会をスタッフ会議の前に開催 2. かるがも館の認知度を高める取り組み ・かるがも館祭りの開催 ・「たま広報」の利用 ・ホームページの運用 3. コミュニティルームの利用率向上 利用率は前年度比 3.3%増の 49.1%に、利用者は 2.3 万人から 2.6 万人に増加 4. 新型コロナウイルス感染 5 類指定以降の対策 状況に応じた対策を	1. 新たな取り組みと改善点 ・和太鼓のコンサートは広い年齢層にも好評で来年度も実施決定 ・情報の共有化と情報伝達のスムーズな流れが作られてきている 2. かるがも館の認知度を高める取り組み ・かるがも館祭りは、屋台（飲食）も復活して通常の開催になり、約1500名参加 ・ホームページの運用でイベントなどのタイムリーなお知らせや、詳細な紹介記事などでより深化 3. コミュニティルームの利用率向上 かるがも館祭り開催と音楽室の個人利用が寄与 4. 新型コロナウイルス感染症対策 状況に応じた緩和策を実施、適切との評価	○事業について 今年度の事業は、ほぼ計画通りに実施できたが、多世代を対象とした事業の拡充を図る。 ○運営協議会委員・協力員の増強 委員の高齢化などによって委員の減少傾向は否めないが、協力員の増加はある。今後もあらゆる機会を捉えて、委員の増強を図りたい。 ○かるがも館祭りについて かるがも館祭りは、地域住民にとっても運協にとっても重要な催しであり、今後も実施したい。 ○コミュニティルームの利用率向上 利用者の利便性を図り、利用率向上を目指す。 ○新型コロナウイルス感染症対策 今後も状況を注視して対応する。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	体育館内のレストラン運営事業者を市内の福祉団体を選定し、運営を開始しました。	事業者を変更したことで利用者へのサービスが大幅に向上しました。また事業者を福祉団体としたことで、障がい者の活躍の場の提供、健常者との相互理解につながっていると捉えています。テーブル・椅子などの什器備品の更新もおこなっておりレストラン全体の雰囲気明るくなりました。	公共施設のレストランは収支で苦境を強いられているところが多いですが、事業者の努力・指定管理者との連携強化により安定した運営を行っております。
			体育館利用者に付与している利用ポイントサービスをレストラン利用にも適用開始しました。	体育館・レストランの相互利用促進につながっています。	主だった課題はなし。
			多摩市のご協力をいただき条例改正後、武道館に売店を設置しました。	近隣に軽食販売をしている店がなく、武道館及び、多摩東公園利用者に軽食提供ができるようになりました。大会開催時など商品が多く販売されるほか、日々の利用でも定期的に購入頂いており、利用者サービスの向上となっています。	購入商品を食べる飲食スペースを館内に新設することです。
			大谷戸公園キャンプ練習場の受付方法の拡大、備品の拡充・運営日の拡大を行いました。	受付方法は、窓口のみから HP・メールでの申し込みを開始しより気軽にお申込み頂けるようにしました。無料貸し出し備品として、テント・タープ・バーベキューグリル・テーブル・イスを追加し利用者サービスの向上を図りました。運営日は、従前の年末年始8日間休業だったものを2日間に短縮し利用機会拡大をしました。また、特定期間の土日は管理人を常時配置することで、当日受付も可能としました。	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	武道館の自主事業を増設しました。	稼働率の低い特定曜日の畳面を使用し、3教室を新設しました。	事業が十分に周知されていないためか、集客が課題です。武道館の今までの運用を考えると教室事業も開催されている施設との認識が不十分なところも要因と考えられます。
			「多摩健幸フェスタ」を総合体育館と多摩東公園で開催しました。	指定管理者独自の大型イベントとして開催し、総合体育館では、普段体育館を利用頂いている団体及び教室事業の参加者を対象とした「発表会」のほか、「体力測定」、明治安田による「身体測定会」、医療ネットワーク支援センターによる「防災フェスタ」スポーツ推進委員の協力を頂いた「ニュースポーツ体験」、エントランスでは、レストラン運営事業者、「ワークセンター つくし」の出店、その他キッチンカーを設置し大変な賑わいを見せました。 多摩東公園では、武道館利用団体による「発表会」のほか、中央広場では「フリーマーケット」、「正夢の会」の出店、キッチンカーの設置を行い、野鳥の会の協力を得ての「野鳥観察会」、「ヨガ体験」、「インボディ測定」、スポーツ推進委員の協力を得ての「ノルディックウォーキング体験」、有名選手・障がい選手を招いた「走り方教室」、「からだ測定会」など武道館・陸上競技場・多摩東公園一体となったイ	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日		ベントを実施しました。総合体育館、多摩東公園ともに大変好評を頂き、賑わいをみせました。	
			障がい者スポーツとして「ボッチャ」を継続開催しました。	年々その賑わいは大きくなっております。年に数回、ミニ大会を設け普段の練習成果を披露し楽しめる場としています。ミニ大会では参加者に景品をプレゼントしていますが、地域の特産物を中心として地域共働に寄与しております。	ボッチャ開催を武道館で要望されるお声を頂いております。既に協議をさせて頂いており、来年度から実施の準備を進めております。なお、指導員には体育館の「ボッチャ」指導に当たって頂いている河北財団の職員に依頼いたします。
			多摩市のスポーツ推進を担う、「スポーツ推進委員」に当グループの職員を継続任命しました。	当グループより職員を派遣させ連権強化を図っております。当グループ管理施設をスポーツ推進委員の活動で利用されることも多く、推進委員に当グループの職員がいることでスムーズな連携・柔軟な対応が可能です。また、当グループの事業を実施する際は、スポーツ推進委員の皆様にお手伝いいただくこともあり、市民共働の推進も図っております。	主だった課題は無し。
			一部運営の委託先に多摩市シルバー人材センターを継続選定しています。	シルバー世代の雇用機会創出にも寄与しております。また、シルバー職員の前職の知識・経験を現場でも発揮いただく場面も散見され活躍いただいております。	主だった課題は無し。
			市民共働を推進しています。	物品・工事などの発注の際は市内業者を優先して行っております。また、当グループとして大栗川の清掃活動・馬引沢自治会の消防訓練に参加し市民共働を推進しています。庭球場は、落葉時期の落葉集積に利用者のご協力を頂いており、また一部整備も担って頂いております。庭球場の他、野球場、球技場の利用後整備に関しても利用者にご協力を頂いております。当グループによる本格的な整備以外で利用者の御協力を頂くことで、施設を良好な状態に保つことができていると考えております。	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日		「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」にも加入をして、市民共働の強化を図っております。	
			市内指定管理者と共同事業を実施しました。	「ニ幸産業・NSP グループ」様との共同事業で「よこやまの道」をコースに入れた「ノルディックウォーキング体験」を実施しました。	主だった課題は無し。
			こども対象の事業を拡大しました。	通年で開催しているフットサル・チア・K-POP・テニス・体操教室の他に、体育館で「運動遊び教室」、陸上競技場で「陸上教室」を今年度より開始しました。その他、子育て世代を対象とした「こども預り事業」も実施いたしました。	主だった課題は無し。
			利用者アンケート回答方法に Web 回答を加えました。	従前の記述式のほか、Web で回答頂けるようにして利便性の向上を図りました。	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健康スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	利用者懇談会を実施しました。	昨年度はトレーニングルーム利用者を対象とし開催しましたが、今年度は体育館の一般団体を対象に開催しました。利用者の声を聴く機会となったほか、施設の考えをお伝えできる場にもなったと捉えています。	主だった課題は無し。
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	01) 従前より、総合福祉センターのネーミングライツ公募に応募し、継続して選定されています。「二幸産業・NSP 健康福祉プラザ」	01) 従前より、懸垂幕や館内表示で名称が変わった事の周知と電話応答で「健康福祉プラザ」を継続して使用しています。多摩市広報や多摩市社会福祉協議会の「福祉だより」など、発行物に積極的に使用していただいております。	01) 総合福祉センターとの併記をして、利用者への周知に努めております。懸垂幕は老朽化したため撤去しました。
			02) 継続して必要な什器等に対し耐震固定を行っています。	02) 継続して必要な什器等に対し耐震固定を行っています。概ね完了しております。 防災管理点検等で指摘があればその都度実施しています。	02) 新たに福祉棟3階に設置した「ロッカー室」什器にも耐震固定を施し、転倒防止等安全対策を行いました。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	03) 継続して、総合福祉センター、温水プール両館のシャワー栓に対し、節水器を取り付けています。	03) 徐々にプール利用者も増加していることから、節水器の効果が見込まれます。	03) 現在、リースによる節水器設置を同様の効果で安価な機器への変更を検討している。
			04) 多摩市と友好都市提携を締結している「長野県富士見町」の物産展と写真展を企画していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止しました。	04) 今後、市文化・生涯学習推進課と調整し、友好都市「長野県富士見町」の紹介から始め、物産展実施に向けたフェーズを作っていきます。	04)
			05) 温水プール駐輪場の一部にサイクルラックを設置中です。	05) サイクルラックに加え、市の交通施策に協力して、総合福祉センター、温水プール両館の駐輪場の一部を利用したシェアサイクルの設置を継続しています。多くの方が利用しています。	05) 利用者も多いことから、設置の継続をお願いします。
			06) 総合福祉センター3階の「図書コーナー」と「いこいの広場」にパソコンやモバイル機器の充電用として専用コンセントを設置しています。	06) 利用者の利便性の向上を図るため、継続して設置しています。 パソコン等で調べ物や学習する方や携帯電話充電に活用されています。	06) 継続して設置することで、コンセントの不正使用を防ぐ結果となりました。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	07)「第4回多摩市ポッチャフレンドカップ」大会へ参加しました。指定管理者職員1チームが参加しました。	07) 大会に参加することで、面白さ、奥の深さをしり、生涯スポーツの「ポッチャ」を寿大学でも取り組む準備を始めました。	07)生涯スポーツとしての「ポッチャ」に継続的に参加することにより地域団体との交流ができた。2023ポッチャTAMAカップにも参加し、障がい者チームとも交流できた。
			08) 引き続き総合福祉センター3階ペデ南側通路に約10メートルにわたってプランターを配置し、ミニトマトやキュウリの栽培を行いました。	08) 指定管理者が無農薬のミニトマトの栽培を行いました。 施設テナント「障害デイ・あんど」、「啓光えがお」の利用者が水やりをしてくださり、交流の場にもなっています。	08)通路を活用し、地域の方や、総合福祉センター利用者の誰もが収穫できるミニトマトとして栽培しました。美観にも貢献し、来館者にも好評でした。 ゴーヤのグリーンカーテンにも取り組んでいます。
			09)プール利用者の中で特に問題行動を起こす利用者に対し、多摩市、多摩中央警察署と連携し、文書による警告を行っていましたが、本年は文書による警告はありませんでした。	09)警告はありませんでしたが、職員へのセクハラ・人権侵害行為があり、市に相談をして解決に努めました。	09)今後も引き続き、問題行動を起こす利用者の行動を記録するとともに、個人が標的になることがないように組織として対応していきます。
			10)多摩市立諏訪中学校校外学習及び、南鶴牧小学校2学年「まちたんけん」学習を総合福祉センター・温水プールで受け入れました。	10) 各施設の仕事情容や清掃工場からの余熱利用、機械室等のバックヤード見学などを行いました。	10) 今後も地域の教育機関との連携を図って参ります。
			11) 多摩市における新型コロナウイルス感染対策に全面的に協力しました。	11)5月8日から感染症5類相当の取り扱いになり、マスクの着用は個人の判断としました。	11) 新型コロナウイルス感染症の影響はいまだにあり、利用人数はコロナ前に戻っていません。多摩市と連動し、利用者を増やす方法を考えていきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	12) 5月8日から感染症5類相当の取り扱いに変更になりましたが、引き続き検温器、消毒設備はそのまま設置し、利用者が使用できるようにしています。	12) 感染すると重症化しやすいと言われる高齢者や障がい者が利用する施設であり、マスクの着用は個人の判断としましたが、マスクの着用は推奨しています。	12) 5月8日から感染症5類相当の取り扱いに変更になり、利用者も戸惑いがありましたがましたが、個人の判断で行動することが定着してきました。施設内の一部パーティションの撤去も始めました。
			13) 広告営業について、多摩市からの紹介で1件、自動販売機の関連で1件獲得し、計2件が継続しています。	13) 広告掲出場所を新たに検討していきたい。	13) 獲得広告を継続していきたい。 新たな広告媒体としてサイネージを活用するため、取扱要領を検討したい。
			14) 多摩市のホストタウンである「アイスランド共和国」を、市が取り組む「アイルランドウィーク」に協力し、パラリンピック競泳チームの事前キャンプの練習会場として協力をしたこと、アイルランドの地形や観光スポット、料理など魅力を発信する。	14) パラリンピック選手の練習会場として受け入れた実績をパネルにして紹介しています。 令和4年度以降、令和5年度においても引き続き、「アイスランドウィーク」に協力し、アイスランド共和国がホストタウンであることをパネル展示により周知しています。 この期間にアイスランド国旗の掲揚をしました。	14) 今後も市に協力し、ホストタウンであるアイスランド共和国を紹介していきたい。 また、コロナ禍で中止となったアイスランド料理調理実習の実施や、アイスランドウィーク事業にも協力していきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	15)引き続き温水プールやトレーニングルームのシャワー水温度低下を防ぐため、シャワー水栓の交換を行い、随時更新していきます。	15)シャワー水の温度低下のご意見は少なかった。	15)常に快適で安定した水温確保を行っています。
			16)トレーニングルームにおける「初回講習」、「簡易初回講習」に加え、新たに「時間外講習」を継続して設けています。	16)	16) 今後も引き続き、利用者が利用しやすい仕組みづくりを行います。
			17)多摩市スポーツ推進委員の選出を行い、継続して協議会へ参加しています。	17)引き続き指定管理者から委員を選出し、伊藤プール副統括責任者がスポーツ推進委員として活動しております。	17) 他のスポーツ推進委員と協議しながらスポーツの普及、振興を目指し、市民の健康増進・体力向上に努めております。
			18)災害時の避難駐車場として総合福祉センター、温水プール両施設の駐車場開放などを取り決めた「災害時の駐車場開放についてのマニュアル」を令和2年度に作成し、現在も継続して運用しています。	18)災害発生時のスムーズな駐車場開放と避難中の施設利用範囲を定めたマニュアルで、災害時に活用できるよう日頃から備えています。	18)

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	19)令和3年度から、多摩市教育委員会と連携し、市内小学校の水泳授業の受け入れを継続中です。 ・南鶴牧小学校(令和3年度から) ・大松台小学校(令和4年度から) ・東落合小学校(令和4年度から) ・西落合小学校(令和4年度から) ・新たに帝京大学小学校(令和5年度から)	19)学校設置プールと違い、天候に左右されず授業をすることができることや、児童の泳力別指導ができることにより、児童の泳力向上につながっています。	19) 専門指導員による指導、監視体制の中、学校教諭の負担軽減を考えると有効な事業だと考えています。 引き続き事故防止に努め、事業に協力していきます。
			20)令和3年度より、老人福祉センターの運営管理を多摩市社会福祉協議会から引き継ぎを受け、運営しています。	20)コロナが感染症5類相当の扱いになりましたが、感染対策を取りながら老人福祉センター事業を実施しました。利用状況も徐々に回復してきており、イベントや事業を再開しています。	20) 令和6年度からの同好会の制度改正が目前になり、利用者から多くのご意見、ご不安な声をいただきましたが、市高齢支援課、福祉総務課と連携を図り、説明会、個別相談など親切丁寧な対応したことによりご理解をいただきました。
			21)ジャグジープールのレジオネラ対策及び過マンガン酸消費量対策を実施するため、換水作業を週1回行いました。	21) 週1回の完全換水作業を継続して実施しております。休場日のない繁忙期は夜間作業により対応し、レジオネラ対策及び過マンガン酸消費量対策を実施しています。	21)ジャグジープールのレジオネラ対策及び過マンガン酸消費量対策により、水質の安全確保が図られる。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	22)温水プール内、待合ホール通路に冬季の寒さ対策として間仕切りのビニールカーテンを設置しました。継続して設置しています。	22)室温の温度差は、ヒートショックにつながる課題となるので、ビニールカーテンを施し対策してまいります。	22)利用者からも改善効果の声をいただいております。施設内の温度差解消などの課題にも取り組み、快適な環境でご利用いただけるよう努めていきます。
			23) 総合福祉センター、温水プール両館において、無料公衆無線 LANを設置しました。 両施設合計8台設置、稼働中。	23) スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどのデジタルデバイスを使用する施設利用者の利便性向上及び、高齢者のデジタルデバイス解消のための環境整備が継続できている。	23)両施設の共有部分で利用できる環境として今後も継続していきます。 館全体の公衆無線LANについては、市と協議しながら進めていきたい。
			24)令和4年度には、総合福祉センター、温水プール両館において、「赤ちゃん・ふらっと事業」の登録をしました。 今年度は、まだ登録がなかった「子ども110番」に登録しました。	24)多摩市の子育て支援につながるサービスであるとともに、当施設のPRにもなるものです。 子育て世帯や次世代を担う子どもたちが安全で、安心して地域で生活、活動ができるように支援を考えていきます。	24)市の子育て支援施策にも協力していきたい。
			25)温水プール利用料金キャッシュレス決済対応 7月からプール、トレーニングルーム、ミニスポーツホールの年間利用券、回数利用券、団体利用料のキャッシュレス決済を開始しました。	25)市の施策であるキャッシュレス決済に取り組み、総合体育館との相互利用を含む、施設料金キャッシュレス決済が可能となり、市民、利用者の利便性向上に努めた。	25) 今後、プール立体駐車場や総合福祉センター利用料金等もキャッシュレス決済に対応できるよう進めてまいります。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	26) インボイス制度対応 施設内で使用する領収証(書)等について、グループ代表企業であるニ幸産業(株)にインボイス番号や消費税率、税額等必要事項が印字できるように対応しました。	26) 消費税納税者の対応として、施設料金その他、館内でグループ企業が扱う領収証(書)に必要事項が記載(印字)されるよう対応しました。	26) 制度改正に合わせて対応してまいります。
			27) 総合福祉センター3階にロッカールーム設置 同好会活動に限っていたロッカーの通年使用が、一般団体も申請して使用が可能になりました。	27) キーボードや麻雀台など大きなものを保管できるロッカーの要望があり、総合福祉センター利用制度変更に合わせて一般団体も申請してロッカーを使用できるようになり、利用者のサービス向上につながりました。	27) ロッカー内の荷物は自己責任で管理していただいている。適正な利用に期待したいです。
駐輪場	NCD株式会社	令和3年4月1日	・自転車安全点検キャンペーンの実施(永山駅、多摩センター駅東、多摩センター駅西) ・一部 2 段ラック上段の撤去(多摩センター駅西) ・定期契約専用窓口の導入(定期全施設)	左欄を行うことで ・車両事故等に対する意識の向上と事故予防に繋がることが出来ました。 ・下段ラック使用時の利便性及び安全性を向上することが出来ました。 ・電話接続までの待ち時間を短縮することが出来ました。	多摩センター駅西駐輪場の大規模修繕が長期間行われましたが、その中より多くのご利用者様が利用出来るよう努めました。 ・場内有効活用により、前年度比 100.2%達成出来ました。 ・今後の課題としては、車両の多様化に対する対応を継続するとともに、利用状況に適した各車種別受入台数の見直しになります。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	1. 文化・生涯学習推進課との連携事業 	① 多摩市の文化・生涯学習推進課からの協力依頼で新規事業がスタートしました。 移動教室プログラムの一つである林業体験学習で行う間伐体験で取れる副産物カラマツ材の輪切りを活用したオーナメント作成に連携協力を行った。 多摩市の児童は自然の中で貴重な体験を通じお土産作りを行い、それが多摩市内に展示されることにより、振り返りや思い出となった。 実施校は瓜生小（35個）、貝取小（8個）、多摩第三小（12個）、富士見町内の小学校である富士見小（60個）、本郷小（25個）、境小（20個）学校の希望により輪切りのサイズはそれぞれだがうまく活用で来たようでした。 富士見町内の3校（富士見小・本郷小・境小）も友好都市交流も含め参加しました、こちらの作品も多摩市内へ展示しました。境小が代表で多摩第三小学校と交流事業を通じオーナメント作品を受け渡しました。	① 今年度新規事業でもあり手探りでの実施でしたが、間伐材の輪切りを陰干し乾燥して出来る限り割れないように両面を研磨して作品として作業しやすい様に仕上げるところに手間がかかった。 作業工具及び作品作り用部材は生涯学習推進課を通じ手配して頂きました。 実施校も流れが分からない中での不安もあったが、移動教室の生活時間の中で施設と連携しながら、初年度から良い作品と思い出が出来ました。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	2. 利用者ニーズの取組	① 食堂専用スリッパの採用 施設利用者からは都度アンケートの協力をお願いしていますが、その中で利用者からの強い要望で冬期食堂利用時に少し足が冷たく感じたことから、食堂のみで使えるスリッパの貸出要望が出されました。 施設でも利用者ニーズにどのように答えられるか検討をして、食堂入り口へ希望の方は自由に使える様に表示を行い提供しました。 ② ドライヤー専用コンセントを新設 男女別脱衣室には各 1 箇所のコンセントとドライヤーの常設がありました。 一般の利用者から複数でドライヤーが使用できるように要望が出され、設置個所、設置数、電気容量などを所内で検討したところ、新たに男女脱衣室に各 3 か所専用コンセントを設置しました。 ドライヤーの貸出として 3 台準備しました。	① 新規の取組で運用回数も限られますので細かな検証はこれからですが、観察する限り年齢の高い一般の方々の利用があり、標記通り食堂内のみの使用で、自身で利用後は返却ボックスへ入れていただくなど、ルールを守って使っています。 ② 現状移動教室の利用で持参して頂いたドライヤーを部屋で使用する場合、電気容量の関係で 2 台同時使用をしないようお願いしています。 今回のコンセント新設による、一般利用者及び移動教室の利用者の声についても今後検証します。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	3. 遊々の森の取組	① 学習ベンチスペースの移設の取組 令和5年度で「遊々の森」締結期限の最終数年度であることから、次年度以降の活動エリアの整備を行い南信森林管理署と計画測量を行いました。 それに伴い体験林業学習プログラムで必要な学習ベンチスペースの移設申請並びに2基の緊急用簡易トイレの移設設置場所の申請も行った。 学習スペースの下草刈り、雑木除去、整地を行いました。	① 新規「遊々の森」締結エリアについては現状のエリアから南方向に隣接するエリアであり、施設からもアクセスが更に良くなりました、それにより、天候に急変及び発雷時などの緊急時には避難や安全確保がしやすくなる。 緊急用簡易トイレの移設場所は新規「遊々の森」締結エリアに直結する場所の為、利便性は向上するが、林道に隣接するため部外者の使用安全保守管理を確実にを行う事が課題となります。 新規学習スペースについては防火帯に直結できるほどの位置にある為、歩行及び移動が困難な児童生徒は公用車による現地サポートが可能となります。
			4. 食品衛生と食事提供の取組	① 食品衛生管理の徹底した取組 多項目の衛生検査を行い厚生労働大臣登録検査機関でもあり、他にも様々なISO認定資格を有する「LSIメディエンス事業者」の実施する衛生検査を年2回受けております。 複数からなる検査マニュアルに従い、日々の衛生管理に従事しており、施設利用者には安心安全に食事をしていただく環境を提供しています。	① 検査は書類審査から厨房機器の拭き取り検査、手洗い後の拭き取り検査など多くの項目検査を行い、今年度2回の検査結果は、全て100点満点でした。 自主的に衛生講習会を実施して、厨房職員のみならず、施設全体の職員へ衛生管理の意識付けを行った。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日		② 移動教室メニューの更新 児童生徒が楽しみにしている八ヶ岳移動教室の食事、寝食を共にする事で仲間意識や協働教育に繋がると考えています。 まずは食物アレルギーを出来る限り考慮しながらのメニュー構成を組立て、バランス、いろどり、過去からの自己分析などを取入れ、朝・夕食それぞれ2パターンの食事メニューを提供します。	② 食物アレルギーについては対象児童生徒が微増傾向であるのは否めないが、引き続き学校・保護者・施設と三者協同でリスク回避をし、現地では皆からも見て分かるように色のトレイを使い食物アレルギーの児童生徒をみんなで守る取り組みをしています。 しかし、近年食物アレルギー以外にも食べられない食材、宗教上で食材が取れないケースも出てきています。 食事提供マニュアルを順守しながら安全安心で楽しくなる食事提供に努めます。
永山複合施設駐車場	新都市センター開発株式会社	平成31年4月1日	年末年始の休業日に、駐車場内の白線ライン清掃及び柱コーナーガードの塗装を実施。 また、場内清掃の強化や夏場に至っては通常より巡回の回数を増やし、車内に子供の置き去りの有無を確認するなど、防犯及び安全面を考慮し巡回を実施。	駐車場内の白線ラインを清掃した事により、利用者が駐車しやすくなり利便性が向上、柱コーナーガードを再塗装した事で視認性も高まり接触事故の抑止効果に繋がった。 また、場内清掃や夏場に至っての巡回強化は、利用者に綺麗で安心して利用できる駐車場と思われます。	駐車台数は 5.3%増加し使用料収入は 5.6%減少した。 前年同様、断続的な満車が多々発生しているが振替証明カードの発行は 1 枚と減少した。前年度の課題は達成出来ており、今年度は駐車場出入口ゼブラゾーンの塗装や誘引換気ファンの清掃を検討しています。